

コンビネーションカメラ

取扱説明書

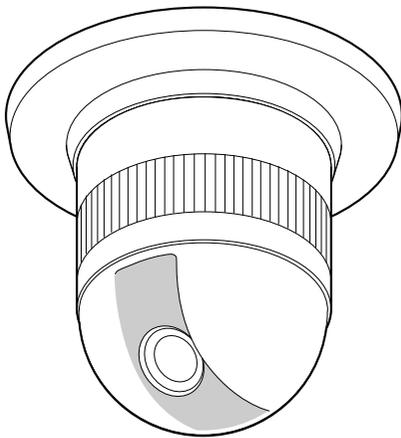
工事説明付き

品番 WV-CS850

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なおきにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



もくじ

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
安全上のご注意	3
使用上のお願い	6
各部のなまえ	7
設定メニューと基本操作	8
セットアップメニューについて	10
プリセット設定	12
プリセットポジションの設定	12
ホームポジションの設定	25
オートモードの設定	26
AUTO PAN KEY機能の設定	28
デジタルフリップ機能の設定	28
コントローラー電源OFF時の動作設定	29
特別メニューの設定	29
カメラ交換時のカメラ位置調整	44
カメラ設定	45
RS485設定	50
設置上のおお願い	52
DIPスイッチの設定	53
設置のしかた	57
接続のしかた	60
メニュー画面構成	62
ショートカット操作について	63
仕様	66
保証とアフターサービス	裏表紙

はじめに

設定のしかた

工事説明

付録

このたびは、コンビネーションカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ございました。

商品概要

本機は、1/4型CCDを搭載したカラーテレビカメラと22倍ズームレンズ、およびプリセット水平・垂直回転台を一体化したドーム型の監視カメラです。主な特長は次のとおりです。

スーパーダイナミック方式（SUPER-D）を採用
照度差の激しい被写体も鮮明に撮影できます。

新開発DSPにより、高感度を実現

新開発のノイズリダクションを搭載することにより、カラーモード 1 lx、白黒モード 0.06 lx
を実現しています。

夜間白黒切り換え機能を搭載

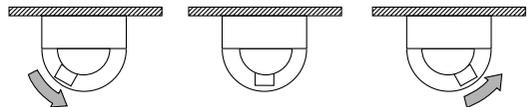
低照度時、自動的に白黒モードへ切り換えることができ、夜間でも鮮明に撮影できます。

デジタルフリップ機能搭載

通常の垂直回転動作ではカメラが真下を向いたところで停止しますが、デジタルフリップ機能を使用すると垂直方向 0° ~ 180° をワンモーションで回転することができます。この機能により、カメラの真下を通り過ぎる被写体を滑らかに追跡して撮影できます。

デジタルフリップ機能の動作

①下方向へ。 ②真下付近（135°地点）で映像の上下を瞬時に切り換え。 ③上方向へ。



・・・操作は、コントローラーのジョイスティックを下方向に倒しておくだけ。

プライバシーゾーン機能搭載

撮影する場所（画面）の中に映したくない部分がある場合、その部分だけを映さないようにすることができます。

パトロール機能搭載

手で操作した内容を記憶し、再現する機能です。例えば、監視したい人の流れをあらかじめ記憶しておき、その内容を再現することにより、より複雑な動きが自動で行えます。

カメラポジションを最大64ヶ所記憶可能

カメラポジションを最大64ヶ所まで設定することができます。設定したカメラポジションは、コントローラーからポジション番号をテンキー入力するだけで、その映像をモニターに表示できます。

モーションディテクター機能

監視中、モニター画面内に動きが生じた場合、アラーム信号を送出することができます。

この機能により、夜間の侵入に反応してVTR録画するといったシステムを構築することができます。

付属品をご確認ください

飾りカバー	1	接点保護シート	1
8Pアラームケーブル	1	取扱説明書（本書）	1
4Pアラームケーブル	1	保証書	1

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

必ず販売店にご依頼ください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異物を入れない



水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因となります。

禁止

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

回転動作中は本体部に手触れない



回転部に指をはさみ、けがの原因となります。

禁止

ドームカバーは付けた状態で使用してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

重量に耐える場所に取り付ける



取付場所の強度が不十分だと、落下や転倒などで、けがの原因となります。

専用の取付金具を使用する



落下によるけがの原因となります。

設置の際は、必ず専用の取付金具を使用してください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を越える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で、定格を越えると発熱による火災の原因となります。

注意

お手入れのときはカメラ本体の電源を切る



回転部に指をはさみ、けがの原因となります。

定期的に点検する



取付部が劣化すると、落下などでけがの原因となります。

点検は販売店に依頼してください。

使用上のお願い

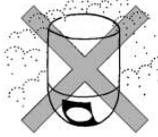
使用温度範囲は

-10°C ~ +50°Cまでです。この温度範囲外で使用すると内部の部品に悪影響を与え、誤動作や故障の原因となります。



湿気、ほこりの少ない所で

湿気やほこりの多い所で使用すると内部の部品がいたみやすくなりますので避けてください。



ちゅう房など蒸気や油分の多いところでの使用は避けてください

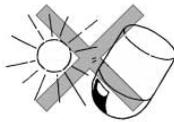
ドームカバーを直接触れないでください。カバーが汚れると画質劣化の原因となります。

本機は吊り下げ専用です。据え置きで使用しないでください。故障の原因となります。



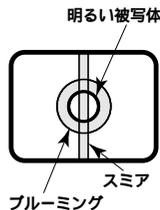
カメラを太陽に向けないでください

カメラを使用している間にかかわらず、レンズを太陽に向けないでください。



強い光にカメラを向けないでください

画面の一部分にスポット光のような強い光があると、ブルーミング（強い光の周りがかじむ現象）スミア（強い光の上下に縦縞が発生する現象）を生じることがあります。



取り扱いがていねいに落したり強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因となります。



水をかけないでください

本機の防水性はJIS保護等級で防滴レベルです。直接水をかけないでください。

本機に電源スイッチはありません

電源プラグをコンセントに差し込むと電源が入ります。お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用中、画面に「OVER HEAT」と表示されたときは

冷却ファンの故障などにより、カメラ内部が異常に高温になっています。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて販売店へご連絡ください。

消耗品について

次の部品は消耗品です。寿命時間を目安に交換してください。なお、寿命時間は、使用環境、使用条件により変わります。消耗品の交換は、保証期間内であっても有料となります。

- ・レンズ部 : 約370万動作 (約20,000時間)
- ・スリッピング : 約240万動作 (約20,000時間)
- ・冷却ファン : 約50,000時間

ドームカバー内が結露したときは

ドームカバーを外して、水分を柔らかい布でふき取ってください。

お手入れは

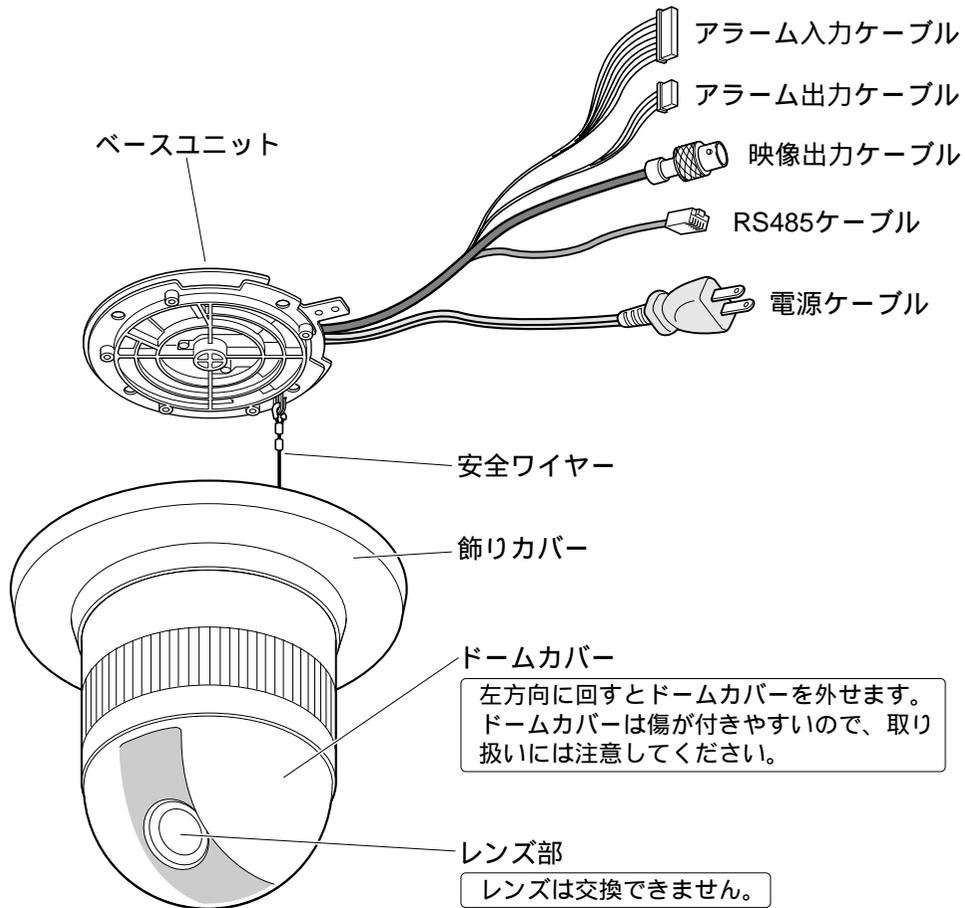
電源を切って乾いた布で拭いてください。ほこりが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、よく絞って軽くふいてください。レンズの清掃はレンズクリーニングペーパー（メガネやカメラの清掃に使うもの）で行ってください。



ドームカバーは特に傷が付きやすいので、柔らかい布で軽くふいてください。



各部のなまえ



常に最良の状態でお使いいただくために

- 本機は「スリップリング」と呼ばれる部品を使って電源や信号の伝達を行っています。このスリップリングが汚れると、パン（水平回転）操作時に画質の劣化やノイズが発生することがあります。

常に最良の状態を保つために、クリーニング機能（42ページ）を「ON」にしてお使いください。

- スリップリングのクリーニングを行っても画質の劣化やノイズを解消できないときは、スリップリングの寿命が考えられますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

設定メニューと基本操作

はじめに

- ・設定操作は、本機に接続されたシステムコントローラーやパーソナルコンピュータで行います。本機のみで設定することはできません。
- ・各種機能の設定は、モニター画面上に「設定メニュー」を表示して行います。設定メニューは設定項目ごとに分かれています。(メニュー画面構成、62ページ)
- ・設定メニューの中で最初に表示されるメニューを「セットアップメニュー」と呼びます。すべての設定操作は、セットアップメニューを表示したところから始まります。セットアップメニューの表示方法やメニューの内容については10,11ページをご覧ください。
- ・電源投入直後は約20秒間初期化動作を行います。この初期化動作中は、設定メニュー操作ができません。

設定項目について

本機の設定項目は、「プリセット設定」「カメラ設定」「RS485設定」の3種類です。各設定項目の概要は次のとおりです。

(1) プリセット設定 (12~44ページ)

本機は撮影場所を最大64ヶ所まで記憶することができます。記憶する撮影場所をプリセットポジションといい、1~64の番号(プリセット番号)で管理されます。このプリセット番号(1~64)ごとに、撮影場所(プリセットポジション)と撮影条件を設定することをプリセット設定といいます。

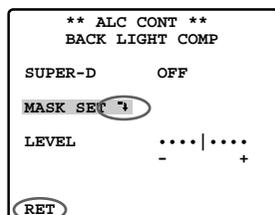
(2) カメラ設定 (45~49ページ)

カメラの動作に関する設定です。セットアップメニューから「カメラ設定メニュー」を表示して設定を行います。

(3) RS485設定 (50~51ページ)

本機のRS485ケーブルを使用して、コントローラーから本機を制御(回転台操作など)する場合の環境設定です。セットアップメニューから「RS485設定メニュー」を表示して設定を行います。

設定メニュー上の表示について



各設定メニュー共通の表示について説明します。

↘ : 設定項目の右側に表示され、その設定項目には詳細項目を設定するサブメニューがあることを示しています。

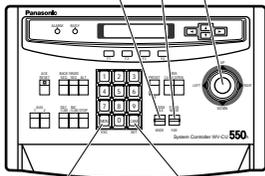
RET : メニューの左下に表示され、ひとつ前のメニューに戻る際に選択します。

設定時の操作方法（基本操作）

設定時の操作内容と使用するキー（スイッチ）は次のとおりです。コントローラーにより異なりますのでご注意ください。詳細はコントローラーの取扱説明書をご覧ください。

【 WV-CU550A 】

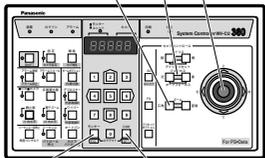
ジョイスティックつまみ
FOCUSスイッチ
ZOOMスイッチ



MON (ESC) キー
CAM (SET) キー

【 WV-CU360 】

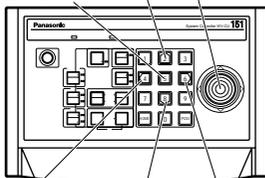
ジョイスティックつまみ
フォーカススイッチ
ズームスイッチ



モニター (ESC) キー
カメラ (セット) キー

【 WV-CU151 】

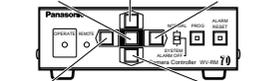
ジョイスティックつまみ
上方向スイッチ
設定スイッチ



左方向スイッチ
右方向スイッチ
下方向スイッチ

【 WV-RM70 】

上方向スイッチ
設定スイッチ
右方向スイッチ



左方向スイッチ
下方向スイッチ

	WV-CU550A	WV-CU360	WV-CU151	WV-RM70
カーソル移動	ジョイスティックつまみ (上下左右)	ジョイスティックつまみ (上下左右)	テンキーの上下左右方向スイッチ	上下左右方向スイッチ
設定内容の切換	ジョイスティックつまみ (左右)	ジョイスティックつまみ (左右)	テンキーの左右方向スイッチ	左右方向スイッチ
レベルの調整	ジョイスティックつまみ (左右)	ジョイスティックつまみ (左右)	テンキーの左右方向スイッチ	左右方向スイッチ
カメラの向き (水平垂直位置)	ジョイスティックつまみ (上下左右)	ジョイスティックつまみ (上下左右)	ジョイスティックつまみ (上下左右)	上下左右方向スイッチ
レンズのズームフォーカス調整	ZOOM、FOCUS スイッチ	ズーム、フォーカス スイッチ	ZOOM、FOCUS スイッチ	上下左右方向スイッチ
設定内容の確定	CAM(SET) キー	カメラ (セット) キー	テンキーの設定スイッチ	設定スイッチ
サブメニュー表示	CAM(SET) キー	カメラ (セット) キー	テンキーの設定スイッチ	設定スイッチ
プリセットID、カメラID 表示位置決定	MON(ESC) キー	モニター (ESC) キー	テンキーの設定スイッチ(長押し)	設定スイッチ(長押し)
マスク設定の確定	MON(ESC) キー	モニター (ESC) キー	テンキーの設定スイッチ(長押し)	設定スイッチ(長押し)

重要!!

- ・変更した設定内容は、他の項目にカーソルを移動するか、別の設定メニューに切り換わったときに確定されます。設定内容を変更した状態で設定メニューを消すと、その操作は無効となります。
- ・各種機能の設定操作（12ページ以降）は、システムコントローラー WV-CU550A を例に説明しています。

セットアップメニューについて

すべての設定操作は「セットアップメニュー」を表示したところから始まります。
ここではセットアップメニューの表示方法と設定項目について説明します。

セットアップメニューの表示方法

操作の詳細説明は、お使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。

```
*** SET UP MENU ***
PRESET 1*
MAP ↵
HOME POSITION 15
SELF RETURN 10MIN
AUTO MODE AUTO PAN ↵
AUTO PAN KEY SEQ
DIGITAL FLIP OFF
LOCAL/REMOTE LOCAL
SPECIAL1 ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵
```

セットアップメニュー

WV-CU550Aを使用する場合

- ① 設定するカメラ（本機）とセットアップメニューを表示するモニター番号を選択する
- ② カーソルキーを使い、「D4」メニューを表示する
- ③ F1キーを押す

WV-CU360を使用する場合

- ① カメラ設定キーを約2秒以上押し続ける。

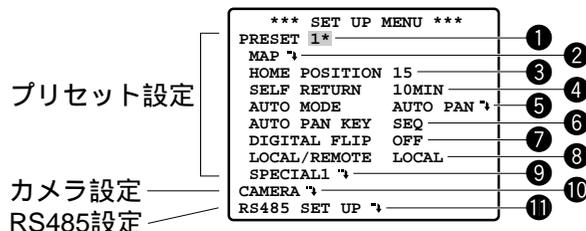
WV-CU151を使用する場合

- ① カメラメニュースイッチを約2秒以上押し続ける

WV-RM70を使用する場合

- ① 機能切換スイッチを「NORMAL」または「ALARM OFF」にする
- ② プログラムスイッチを約2秒以上押し続ける
- ③ カーソルを「Camera Set Up」に合わせ、設定スイッチを押す

セットアップメニューについて



① PRESET (プリセット)

プリセット番号(1~64)を直接指定して、撮影場所やレンズのズーム・フォーカス位置などをプリセット設定メニューで設定します。(12ページ)

プリセット番号を指定するとプリセット設定メニューが表示されます。

② MAP (マップ)

プリセット番号(1~64)を選択するポジション選択メニューを表示します。ポジション選択メニューでプリセット番号を選択してから、撮影場所やレンズのズーム・フォーカス位置などをプリセット設定メニューで設定します。(12ページ)

プリセット番号を選択するとプリセット設定メニューが表示されます。

③ HOME POSITION (ホームポジション)

手動での操作終了後、一定時間を経過したときに自動的に戻る撮影場所(ホームポジション)を設定します(25ページ)。AUTO MODE⑤が「OFF」のときのみ機能します。

④ SELF RETURN (セルフリターン)

手動操作終了後、ホームポジションに戻るまでの時間を設定します。(25ページ)

AUTO MODE⑤が設定されている場合は、手動操作終了後にオートモードへ自動復帰するまでの時間設定となります。

⑤ AUTO MODE (オートモード)

カメラの動作モードを設定します。(26ページ)

⑥ AUTO PAN KEY (オートパンキー)

コントローラーのAUTO PANキーを押したときの動作を設定します。(28ページ)

⑦ DIGITAL FLIP (デジタルフリップ)

デジタルフリップ機能のON/OFFを設定します。(28ページ)

デジタルフリップ機能を使用すると、垂直方向0° ~ 180° をワンモーションで回転させることができ、カメラの真下を通り過ぎる被写体を滑らかに追跡して撮影できます。

⑧ LOCAL/REMOTE (ローカル/リモート)

コントローラーの電源を切ったときの本機動作を設定します。(29ページ)

⑨ SPECIAL1 (スペシャル1)

プライベートゾーンやパトロール機能など、特別な機能を設定する特別メニューを表示します。(29ページ)

⑩ CAMERA

カメラ映像系の動作設定を行うカメラ設定メニューを表示します。(45ページ)

⑪ RS485 SET UP

本機のRS485ケーブルを使用して、コントローラーから本機を制御する場合の環境設定を行うRS485設定メニューを表示します。(50ページ)

DIPスイッチ1(54ページ)を設定したときのみ、このメニューが表示されます。

プリセット設定

プリセットポジションの設定 [PRESET]

プリセット番号 (1~64) を設定し、プリセット番号ごとに撮影場所・撮影条件を設定します。プリセット番号1~4は、アラーム入力 (38ページ) と連動します。

プリセット番号 (1~64) を設定し、プリセット設定メニューを表示する

設定には、次の2種類の操作方法があります。

(1) プリセット番号を直接指定する場合 [PRESET]

```
*** SET UP MENU ***
PRESET 1*
MAP ↴
HOME POSITION 15
SELF RETURN 10MIN
AUTO MODE AUTO PAN ↴
AUTO PAN KEY SEQ
DIGITAL FLIP OFF
LOCAL/REMOTE LOCAL
SPECIAL1 ↴
CAMERA ↴
RS485 SET UP ↴
```

セットアップメニュー

1 カーソルをPRESETの設定項目「1*」に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、設定したいプリセット番号 (1~64) に切り換えます

2 CAM (SET) キーを押します
プリセット番号が設定され、プリセット設定メニューが表示されます。(13~24ページ)

(2) ポジション選択メニューからプリセット番号を選択する場合 [MAP]

```
*** SET UP MENU ***
PRESET 1*
MAP ↴
HOME POSITION 15
SELF RETURN 10MIN
AUTO MODE AUTO PAN ↴
AUTO PAN KEY SEQ
DIGITAL FLIP OFF
LOCAL/REMOTE LOCAL
SPECIAL1 ↴
CAMERA ↴
RS485 SET UP ↴
```

セットアップメニュー

1 カーソルを「MAP ↴」に合わせ、CAM (SET) キーを押します
ポジション選択メニューが表示されます。

2 設定したいプリセット番号にカーソルを合わせ、CAM (SET) キーを押します
プリセット番号が設定され、プリセット設定メニューが表示されます。(13~24ページ)

プリセット番号33~64を設定したいときは、メニュー左下の「33 - 64」にカーソルを合わせ、CAM (SET) キーを押してください。プリセット番号33~64を選択するポジション選択メニューが表示されます。

```
** PRESET NUMBER SET **
1* 2 3 4
5 6 7 8
9 10 11 12
13 14 15 16
17 18 19 20
21 22 23 24
25 26 27 28
29 30 31 32
ID:DOOR
33-64 RET
```

ポジション選択メニュー

```
** PRESET NUMBER SET **
33 34 35 36
37 38 39 40
41 42 43 44
45 46 47 48
49 50 51 52
53 54 55 56
57 58 59 60
61 62 63 64
ID:
1-32 RET
```

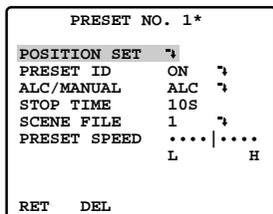
ポジション選択メニュー

メモ

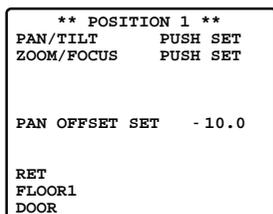
- ・プリセット番号右側の「*」印は、プリセットが設定されていることを示します。
ホームポジションに設定されている場合は、* 印の横に「H」印が表示されます。
- ・プリセットIDが登録されているプリセット番号にカーソルを合わせると、「ID:」欄にプリセットIDが表示されます。

撮影場所を設定する [POSITION SET]

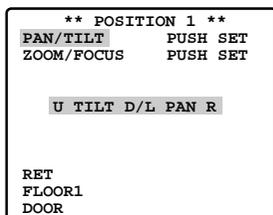
カメラの向き（水平・垂直位置）、レンズのズーム・フォーカスを設定します。



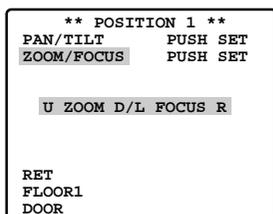
プリセット設定メニュー



ポジション設定メニュー



PAN/TILT設定メニュー



ZOOM/FOCUS設定メニュー

- 1 カursorを「POSITION SET」に合わせ、CAM (SET) キーを押し、ポジション設定メニューを表示します
- 2 PAN/TILT右側の「PUSH SET」にカursorを合わせてCAM (SET) キーを押し、PAN/TILT設定メニューを表示します
- 3 ジョイスティックつまみを上下左右に動かしてカメラの向き（水平・垂直位置）を設定し、CAM (SET) キーを押します。カメラの向きが決定し、ポジション設定メニューに戻ります。
- 4 ZOOM/FOCUS右側の「PUSH SET」にカursorを合わせてCAM (SET) キーを押し、ZOOM/FOCUS設定メニューを表示します
- 5 ZOOMスイッチでズームを、FOCUSスイッチでフォーカスを調整し、CAM (SET) キーを押します。レンズのズーム・フォーカス調整が完了し、ポジション設定メニューに戻ります。

メモ

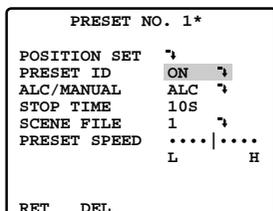
- ・水平に近い角度で使用する場合、フォーカス調整があまくなることがありますのでご注意ください。
- ・ポジション設定メニュー上部のプリセット番号にカursorを合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かすとプリセット番号を選択できます。ここでCAM (SET) キーを押すと、選択したプリセット番号の撮影場所を設定することができます。
- ・カメラ交換によるプリセットデータアップロード時のカメラ位置調整 (PAN OFFSET SET) については、44ページをご覧ください。



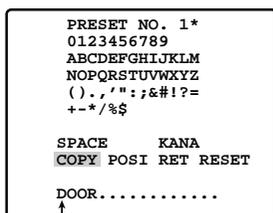
プリセット設定

プリセットIDを設定する [PRESET ID]

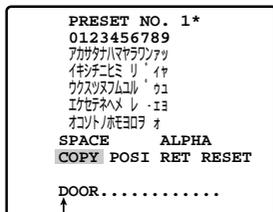
プリセットIDとは、カメラが撮影する場所を英数記号およびカタカナで表したもので、モニター画面上に表示することができます。



プリセット設定メニュー



プリセットID設定メニュー



プリセットID設定メニュー

1 カーソルを「PRESET ID」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON/OFFを切り換えます

ON : プリセットIDを画面に表示します。
OFF : 表示しません。

2 「ON」を選択したときはCAM (SET) キーを押します プリセットID設定メニューが表示されます。

3 ジョイスティックつまみを動かして入力したい文字の上にカーソルを合わせ、CAM (SET) キーを押します

入力した文字が記号作成領域に表示されます。この操作をくり返し、プリセットIDを作成します。(例: DOOR)

[空白スペースを入力したいときは]

「SPACE」にカーソルを合わせ、CAM (SET) キーを押します。

[カタカナを入力したいときは]

「KANA」にカーソルを合わせ、CAM (SET) キーを押します。プリセットID設定メニューのアルファベット部分がカタカナ表示に変わります。

「ALPHA」にカーソルを合わせてCAM (SET) キーを押すと、アルファベット表示に戻ります。

[他のプリセット番号で設定したIDをコピーするときは]

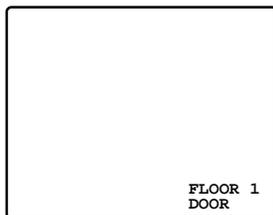
「COPY」にカーソルを合わせ、CAM (SET) キーを押します。ひとつ前のプリセット番号で設定したプリセットIDが表示されます。続けてCAM (SET) キーを押すと、もう一つ前のプリセット番号で設定したプリセットIDが表示されます。

[入力した文字を消去するときは]

「RESET」にカーソルを合わせ、CAM (SET) キーを押します。

[入力した文字を修正するときは]

ジョイスティックつまみを動かして記号作成領域にカーソルを移動します。次にジョイスティックつまみを左または右に動かして修正したい文字に「」を合わせ、文字を入力し直します。



表示位置設定メニュー

4 カーソルを「POSI」に合わせ、CAM (SET) キーを押します
表示位置設定メニューが表示されます。

5 ジョイスティックつまみを動かしてプリセットIDの表示位置を設定し、MON (ESC) キーを押します
プリセットIDの表示位置が決定し、プリセットID設定メニューに戻ります。

メモ

プリセットID設定メニュー上のプリセット番号にカーソルを合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かしてプリセット番号を変更すると、続けて別のプリセットID設定が行えます。

ここに合わせる

↓

```
PRESET NO. 1*
0123456789
ABCDEFGHIJKLM
NOPQRSTUVWXYZ
( ) , ' " : ; & # ! ? =
+ - * / % $

SPACE      KANA
COPY POSI  RET  RESET

DOOR.....
↑
```

プリセット設定

レンズの絞り方法を設定する [ALC/MANUAL]

PRESET NO. 1*	
POSITION SET	?
PRESET ID	ON ?
ALC/MANUAL	ALC ?
STOP TIME	10S
SCENE FILE	1 ?
PRESET SPEED
	L H
RET	DEL

プリセット設定メニュー

1 カースルを「ALC/MANUAL」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ALC/MANUALを切り換えます

ALC : 被写体の明るさに応じて、自動でレンズの絞りを調整します。SUPER-D 機能を使用するときはこの設定にします。

MANUAL : 設定値にレンズの絞りを固定します。

2 CAM (SET) キーを押します

SUPER-D 設定メニューまたはマニュアル設定メニューが表示されます。(次ページ)

SUPER-D (スーパーダイナミック) 機能とは

撮影する場所の明るい部分と暗い部分の差が大きいと、カメラは明るい部分に合わせてレンズの絞りを設定してしまうため、暗い部分が見えなくなってしまう。逆に、暗い部分にレンズの絞りを合わせると明るい部分が見えなくなってしまう。

この明暗差の大きな被写体の明るい部分がよく見える映像と、暗い部分がよく見える映像をデジタル処理で合成し、明るい部分も暗い部分も忠実に再現する機能を「SUPER-D」機能といいます。

暗い場所が見えなかったり...



反対に、明るい場所が見えなかったり...



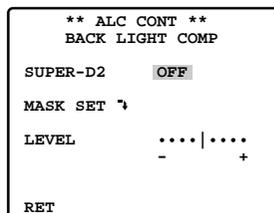
明るさの異なる2つの画像をデジタル処理してクリアに再現

メモ

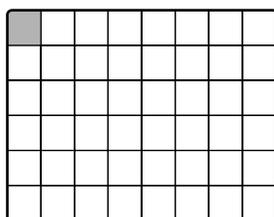
- ・ SUPER-D 機能は、上記の設定を「ALC」に設定したときのみ使用できます。
- ・ SUPER-D 機能をONに設定すると、カメラ設定の下記項目が制限されます。
SHUTTER : OFF、1/100のみ切替可能 (19ページ)
SENS UP : AUTOのみ切替可能 (19ページ)
- ・ 照明の条件によって次のような現象が見られるときは、SUPER-D 機能を「OFF」でご使用ください。
 - ① 画面のちらつきや色の変化が生じる場合
 - ② 画面上の明るい部分にノイズが生じる場合

(1) ALCに設定した場合

SUPER-D (スーパーダイナミック) の設定を行います。



SUPER-D 設定メニュー



マスク設定画面

- 1 「SUPER-D2」の項目にカーソルを合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON/OFFを切り換えます
ON : 常にSUPER-D 機能を働かせます。(手順4へ)
OFF : SUPER-D 機能を停止します。(手順2へ)

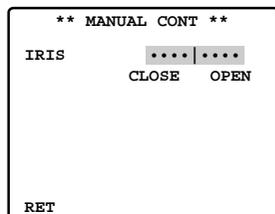
- 2 「MASK SET ↓」にカーソルを合わせ、CAM (SET) キーを押します
マスク設定画面が表示され、左上の区画が点滅します。

- 3 背景の明るい部分の区画にマスクを設定し、その部分の明るさを認識しないようにします
操作方法は次のとおりです。

- ① ジョイスティックつまみを左または右に動かし、点滅表示をマスク設定したい区画に合わせます。
- ② CAM (SET) キーを押し、マスクを設定します。
マスクが設定されている区画に点滅表示を合わせると、横縞と白の交互表示になります。この状態でCAM (SET) キーを押すと、設定されていたマスクが解除されます。
- ③ マスクを設定したらMON (ESC) キーを押して、SUPER-D 設定メニューに戻ります。

- 4 「LEVEL」の項目にカーソルを合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、映像出力レベル(映像のコントラスト)を調整します
手順1で「ON」に設定した場合、レベルを少し上げ気味にすると、より効果が得られます。ただし、レベルを上げすぎると、残像やノイズが多くなる場合があります。

(2) MANUALに設定した場合



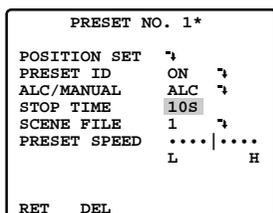
マニュアル設定メニュー

- 1 ジョイスティックつまみを左または右に動かし、レンズの絞りを調整します

プリセット設定

シーケンス動作時の停止時間を設定する [STOP TIME]

セットアップメニューのオートモード (AUTO MODE) を「SEQ」に設定すると、設定されているプリセットポジションを、小さいプリセット番号から順番に切り換えて映し出します。ここでは、プリセットポジションを映し出す時間 (カメラの回転が停止している時間) を設定します。



プリセット設定メニュー

- 1 カーソルを「STOP TIME」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、停止時間を設定します
時間は次のように切り換わります。(S:秒、MIN:分)

2S↔3S↔5S↔10S↔30S↔1MIN↔2MIN↔3MIN↔4MIN

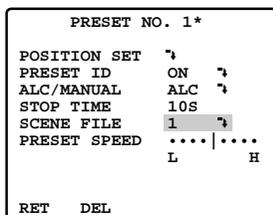
シーンファイルの選択と設定方法 [SCENE FILE]

撮影場所 (シーン) に合わせたカメラ設定をシーンファイルといい、10種類まで記憶することができます。記憶したシーンファイルは1~10の番号 (シーンファイル番号) で管理され、プリセットポジション設定時に選択することができます。

ここでは、シーンファイルの選択方法と設定方法について説明します。

(1) シーンファイルを選択する

記憶されているシーンファイルを現在設定しているプリセットポジションで使用する場合の設定です。

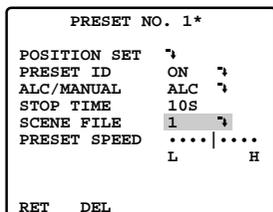


プリセット設定メニュー

- 1 カーソルを「SCENE FILE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、使用するシーンファイル番号 (1~10) を設定します

シーンファイルを使用しないときは、「OFF」を選択してください。

(2) シーンファイルを設定する

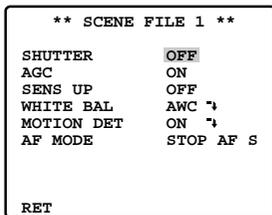


プリセット設定メニュー

- 1 カーソルを「SCENE FILE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、シーンファイル番号 (1~10) を選択します

- 2 CAM (SET) キーを押します

シーンファイル設定メニューが表示されます。



シーンファイル設定メニュー

3 カーソルを「SHUTTER」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、シャッター速度を設定します
シャッター速度の設定項目は次のように切り換わります。

[SUPER-D 機能の設定がOFFの場合]

OFF↔1/100↔1/250↔1/500↔1/1000↔1/2000↔1/4000↔1/10000

[SUPER-D 機能の設定がONの場合]

OFF↔1/100

4 カーソルを「AGC」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ゲインの調整方法 (ON/OFF) を設定します

ON : ゲイン調整を自動で行い撮影します。

OFF : ゲインを常に固定した状態で撮影します。

メモ

AGCを「ON」にすると、低照度で自動的にノイズリダクション機能が働きノイズが低減されます。ただし、動きのある被写体やPAN/TILT操作によって残像が発生することがあります。

5 カーソルを「SENS UP」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、電子感度アップを設定します
電子感度アップは、レンズの絞り方法が「ALC」、シャッター速度が「OFF」のときのみ設定できます。設定項目は次のように切り換わります。

[SUPER-D 機能の設定がOFFの場合]

OFF↔X2 AUTO↔X4 AUTO↔X6 AUTO↔X10 AUTO↔X16 AUTO↔X32 AUTO
→X32 FIX↔X16 FIX↔X10 FIX↔X6 FIX↔X4 FIX↔X2 FIX↔OFF←

[SUPER-D 機能の設定がONの場合]

OFF↔X2 AUTO↔X4 AUTO↔X6 AUTO↔X10 AUTO↔X16 AUTO↔X32 AUTO

メモ

AUTOとFIXには次のような違いがあります。

AUTO : 例えばX32 AUTOであれば、32倍までの間で自動的に感度を上げます。

FIX : 例えばX32 FIXであれば、32倍に感度を上げます。

(次ページへつづく)

プリセット設定

6 カーソルを「WHITE BAL」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ホワイトバランスの調整方法 (ATW/AWC) を設定します

ATW : 自動色温度追尾モードです。カメラが光源の色温度を継続的に確認し、自動的に調整します。

「ATW」を選択してCAM (SET) キーを押すと、ATW設定メニューが表示され、微調整が行えます。(22ページ)

AWC : 自動ホワイトバランスコントロールモードです。このモードを選択すると、表示が「AWC PUSH SW」に変わりますので、CAM (SET) キーを押して調整します。(調整中「PUSH SW」反転表示)

調整終了後はジョイスティックつまみを左または右に動かして表示を「AWC」に戻してください。この状態でCAM (SET) キーを押すと、AWC設定メニューが表示され、微調整が行えます。(22ページ)

メモ

ホワイトバランスは画面上の色温度を自動的に検出して調整していますが、画面上に明るすぎる光源などがあると、正常に調整できない場合があります。

7 カーソルを「MOTION DET」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、モーションディテクター機能を設定します

ON : モーションディテクター機能を使用します。

「ON」を選択してCAM (SET) キーを押すと、モーションディテクター設定メニューが表示され、詳細設定が行えます。(22ページ)

OFF : モーションディテクター機能を使用しません。

モーションディテクター機能とは

1画面を48ブロックに分割してブロックごとに輝度の変化を認識することで、撮影場所の映像に変化(動き)が生じたときにアラーム信号を送出する機能です。

オートモードで動作しているときに映像の変化(動き)を検出すると、アラーム信号を送出するとともに検出したプリセットポジションに設定した時間カメラを停止させることができます。

8 カursorを「AF MODE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、オートフォーカスの動作モードを設定します

NORMAL S,M,L : コントローラーのオートフォーカススイッチを押したときにオートフォーカスが働きます。

STOP AF S,M,L : 手動によるPAN、TILT、ZOOM操作後に自動的にオートフォーカスが働きます。「NORMAL」と同様にコントローラーのオートフォーカススイッチで動作させることもできます。

S,M,Lはオートフォーカスを設定するエリアを表しており、Small (小) Middle (中) Large (大) の略です。表示は次のように切り換わります。

STOP AF S ↔ STOP AF M ↔ STOP AF L ↔ NORMAL S
————→NORMAL L ↔ NORMAL M←————

メモ

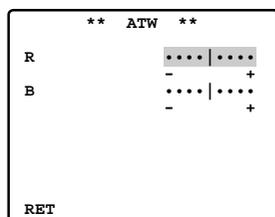
- ・電子感度アップ (SENS UP) を使用する場合、「STOP AF (S,M,L)」は使用できません。自動的に「NORMAL (S,M,L)」に設定されます。
- ・WIDE (広角) で合わせた後にズームアップするとピントがぼけます。
- ・以下のような被写体は、オートフォーカスではピントが合わせられません。手動操作でピントを合わせてください。
 - (例) ・輝いたり、強い光が反射する被写体
 - ・水滴や汚れのついたガラス越しにある被写体
 - ・遠くの被写体と近くの被写体が混在する場合
 - ・白い壁など、明暗差のない被写体
 - ・ブラインドなど、横じまの被写体
 - ・斜めの被写体
 - ・暗い被写体

また、オートフォーカスは画面の中央部にある被写体に対してピントを合わせますので、画面の周辺にある被写体にはピントが合いません。

プリセット設定

(3) ホワイトバランスを微調整する

「(2) シーンファイルを設定する」の手順6 (20ページ) で、ATW設定メニューまたはAWC設定メニューを表示して、ホワイトバランスの微調整を行う場合の操作です。

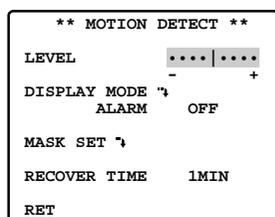


ATW設定メニュー

- 1 カーソルを「R」の項目、「B」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、レベルを微調整します
「R」は赤色、「B」は青色を表しており、+方向に動かすと色が濃く、-方向に動かすと色が薄くなります。

(4) モーションディテクター機能の詳細設定を行う

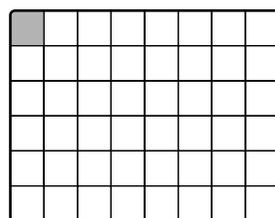
「(2) シーンファイルを設定する」の手順7 (20ページ) で、モーションディテクター設定メニューを表示して、モーションディテクター機能の詳細設定を行う場合の操作です。



モーションディテクター設定メニュー

- 1 「MASK SET」にカーソルを合わせてCAM (SET) キーを押し、マスク設定画面を表示します

- 2 映像変化(動き)を検出しないエリアにマスクを設定します
マスクの設定方法は、17ページの手順3 (SUPER-D の設定) を参照してください。マスク設定後、MON (ESC) キーを押すとモーションディテクター設定メニューに戻ります。



マスク設定画面

- 3 カーソルを「ALARM」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、デモモード時(手順4)のアラーム動作を設定します

ON : デモモード時にアラームを出力します。
OFF : デモモード時にアラームを出力しません。

- 4 「DISPLAY MODE」にカーソルを合わせてCAM (SET) キーを押し、デモモードを実行します

デモモードとは

1画面を48ブロックに分割した状態で輝度変化の検出を行い、設定した検出感度レベルを超える輝度平均の変化が起こった部分をマスク表示します。

デモモードの結果をもとに、検出感度レベルの調整(手順4)や検出エリアの設定(手順1)をくり返し、最適の状態にします。

-
- 5** カーソルを「LEVEL」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、検出感度レベルを設定します
+ 方向に動かすと感度が上がり、- 方向に動かすと感度が下がります。手順4、5をくり返し最適のレベルに設定します。

検出条件

- 被写体の大きさ : 動く物体は画面の1/48ブロック以上の大きさが必要。
被写体のコントラスト : 背景画像と動く物体のコントラスト比が5% (最大感度設定時) 以上必要。
被写体の動く速さ : 画面の端から端を物体が通過する時間が0.1秒~0.8秒必要。それよりも速く、または遅く動く物体は検出できません。

注 : コントラスト比が十分な場合は、大きさ・動く速さの制限は緩和されます。

- 6** カーソルを「RECOVER TIME」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、アラーム復帰時間を設定します

時間は次のように切り換わります。(MIN : 分)

OFFに設定した場合は、別の操作をするまで復帰しません。

OFF↔1MIN↔2MIN↔3MIN↔5MIN↔10MIN↔20MIN

—————→60MIN↔30MIN←—————

メモ

- ・風に揺れるカーテンなどを検出する場合は、マスク設定により検出エリアから除外してください。
- ・低照度下のノイズが多い条件では誤動作する場合がありますので、感度 (LEVEL) を下げてご使用ください。また、車のヘッドライトや照明のON/OFFなどにより被写体の照度が急激に変化する場合は、誤検出する場合があります。
- ・本機で映像の変化 (動き) を検出してから、VTRなどのアラーム端子に信号が送られるまでに約0.2秒の遅れがあります。また、設定メニューを表示している場合、アラームは出力されません。(ただし、デモモードでアラームをONにしているときは除きます)
- ・モーションディテクター機能を「ON」にすると、ブランキング期間にアラームデータを出力するため、VTRのタイムコードなどを使用する機器は誤動作します。同軸通信をしないときは、モーションディテクター機能を「OFF」にしてください。
- ・モーションディテクター機能は盗難、火災などの専用防止装置ではありません。万一発生した事故や損害に対する責任は一切負いかねます。

プリセット設定

プリセットスピードを設定する [PRESET SPEED]

セットアップメニューのオートモード (AUTO MODE) を「SEQ」に設定すると、設定されているプリセットポジションを、小さいプリセット番号から順番に切り換えて映し出します。ここでは、シーケンス動作時のプリセットポジションへの移動速度を設定します。

PRESET NO. 1*	
POSITION SET	↵
PRESET ID	ON ↵
ALC/MANUAL	ALC ↵
STOP TIME	10S
SCENE FILE	1 ↵
PRESET SPEED L H
RET	DEL

プリセット設定メニュー

- 1 カーソルを「PRESET SPEED」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、移動速度を設定します。L方向に動かすと速度が遅くなり、H方向に動かすと速度が速くなります。
速い速度に設定することをおすすめします。

設定したプリセットポジションを消去する [DEL]

PRESET NO. 1*	
POSITION SET	↵
PRESET ID	ON ↵
ALC/MANUAL	ALC ↵
STOP TIME	10S
SCENE FILE	1 ↵
PRESET SPEED L H
RET	DEL

プリセット設定メニュー

- 1 カーソルを「DEL」の項目に合わせ、CAM (SET) キーを押します。
そのプリセット番号の設定内容は消去され、ポジション選択メニューが表示されます。

** PRESET NUMBER SET **			
1*	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20
21	22	23	24
25	26	27	28
29	30	31	32
ID:DOOR			
33-64 RET			

ポジション選択メニュー

ホームポジションの設定 [HOME POSITION][SELF RETURN]

手動での操作終了後に一定時間を経過すると、カメラの位置を指定したプリセットポジションへ自動的に戻すことができます。この自動的に戻るカメラ位置をホームポジション (HOME POSITION) と呼びます。

ここでは、ホームポジションと手動操作終了後にホームポジションへ戻るまでの経過時間 (SELF RETURN) を設定します。

```
*** SET UP MENU ***
PRESET 1*
MAP ↵
HOME POSITION 15
SELF RETURN 10MIN
AUTO MODE AUTO PAN ↵
AUTO PAN KEY SEQ
DIGITAL FLIP OFF
LOCAL/REMOTE LOCAL
SPECIAL1 ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵
```

セッティングメニュー

- 1 カーソルを「HOME POSITION」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、設定したいプリセット番号 (1~64) を選択します

選択したプリセット番号 (1~64) がホームポジションとして設定されます。

ホームポジションを使用しないときは、「OFF」を選択してください。

- 2 カーソルを「SELF RETURN」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、手動操作終了後にホームポジションへ戻るまでの経過時間を設定します

時間は次のように切り換わります。(MIN:分)

1MIN↔2MIN↔3MIN↔5MIN↔10MIN↔20MIN

—————→OFF↔60MIN↔30MIN←—————

メモ

ホームポジション機能を働かせるには、オートモードの設定 (26ページ) を「OFF」にしてください。

オートモードの設定が「SEQ」「SORT」「AUTO PAN」のときはホームポジション機能が働かず、SELF RETURNの設定内容は手動操作後にオートモードへ自動復帰する時間となります。

プリセット設定

オートモードの設定 [AUTO MODE]

カメラの動作モード (OFF、SEQ、SORT、AUTO PAN) を設定します。

「AUTO PAN」を選択した場合は、AUTO PAN設定メニューで詳細設定を行います。

```
*** SET UP MENU ***
PRESET 1*
MAP ↵
HOME POSITION 15
SELF RETURN 10MIN
AUTO MODE AUTO PAN ↵
AUTO PAN KEY SEQ
DIGITAL FLIP OFF
LOCAL/REMOTE LOCAL
SPECIAL1 ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵
```

セットアップメニュー

OFF↔SEQ↔SORT
- AUTO PAN -

1 カーソルを「AUTO MODE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、動作モードを設定します

- OFF : 手動操作でのみ動作します。
- SEQ : 設定されているプリセットポジションを、小さいプリセット番号から順番に切り換えます。(シーケンス動作)
- SORT : 設定されているプリセットポジションを、カメラの原点位置から左回りに切り換えます。(シーケンス動作)
- AUTO PAN : 設定したPANの範囲を自動的に旋回します。「AUTO PAN」を選択してCAM (SET) キーを押すと、AUTO PAN設定メニューが表示され、詳細設定が行えます。(下記)

メモ

- オートモード使用時にPAN/TILTやZOOM/FOCUSを手動操作すると、オートモードは解除されます。ただし、設定メニュー上は変更されませんので、一度セットアップメニューを開いてから閉じるか、SELE RETURNの設定時間 (25ページ) を経過するとオートモード機能が働き始めます。
- 動作中にレンズがリフレッシュモードに入ることがあります。

AUTO PANの詳細内容を設定する

オートモードの設定で「AUTO PAN」を選択し、AUTO PAN設定メニューを表示した場合の設定操作です。

```
** AUTO PAN **
POSITION SET START
END
SPEED .....|.....
L H
PAN LIMIT OFF
ENDLESS OFF
STOP TIME 1S
RET
```

AUTO PAN設定メニュー

1 PANのスタート位置とエンド位置を次の手順で設定します

- ① カーソルを「POSITION SET」に合わせ、CAM (SET) キーを押します
「START」にカーソルが移動します。
- ② ジョイスティックつまみでカメラを動かしてPANのスタート位置を決め、CAM (SET) キーを押します
スタート位置が決定し、「END」にカーソルが移動します。
- ③ ジョイスティックつまみでカメラを動かしてPANのエンド位置を決め、CAM (SET) キーを押します
エンド位置が決定し、「POSITION SET」にカーソルが移動します。

- 2 カーソルを「SPEED」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、PANの回転速度を設定します
+ 方向に動かすと回転速度が速くなり、- 方向に動かすと回転速度が遅くなります。

- 3 カーソルを「PAN LIMIT」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON/OFFを切り換えます
- ON : 手動操作時は、PAN LIMIT 端点間へカメラを向けることができません。90° までのTILT (垂直) 動作範囲となります。ENDLESS (手順4) は「OFF」に設定してください。
 - OFF : 手動操作時でも、PAN LIMIT 端点間へカメラを向けられます。



- 4 カーソルを「ENDLESS」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、エンドレス回転のON/OFFを設定します

- ON : スタート位置からエンド位置に向かってPAN回転し、次に同じ方向に回転してエンド位置からスタート位置に戻ります。PAN LIMIT (手順3) は「OFF」に設定してください。
以後この動作をくり返します。
- OFF : スタート位置からエンド位置に向かってPAN回転し、次に逆方向に回転してエンド位置からスタート位置に戻ります。
以後この動作をくり返します。

- 5 カーソルを「STOP TIME」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、スタート位置およびエンド位置での停止時間を設定します
時間は次のように切り換わります。(S: 秒)

0S↔1S↔2S↔3S↔5S↔10S↔20S↔30S

プリセット設定

AUTO PAN KEY機能の設定 [AUTO PAN KEY]

コントローラーのAUTO PANキーを押したときの本機動作モードを設定します。

```
*** SET UP MENU ***
PRESET 1*
MAP ↵
HOME POSITION 15
SELF RETURN 10MIN
AUTO MODE AUTO PAN ↵
AUTO PAN KEY SEQ
DIGITAL FLIP OFF
LOCAL/REMOTE LOCAL
SPECIAL1 ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵
```

セットアップメニュー

SEQ↔SORT↔AUTO PAN
→PATROL←

- 1 カーソルを「AUTO PAN KEY」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、動作モードを設定します。動作モードは次のように切り換わります。「SEQ」「SORT」「AUTO PAN」はオートモードの設定（26ページ）と同じです。「PATROL」はパトロール機能の設定（35ページ）が「PLAY」のときと同じです。

メモ

「SEQ」「SORT」「PATROL」に設定した場合、設定どおりの動作はしますがAUTO PANキーのLEDは点灯しません。また、AUTO PANキーでの停止はできません。

デジタルフリップ機能の設定 [DIGITAL FLIP]

通常の垂直回転動作ではカメラが真下を向いたところで停止しますが、デジタルフリップ機能を使用すると垂直方向0°～180°をワンモーションで回転することができ、カメラの真下を通り過ぎる被写体を滑らかに追跡して撮影できます。（135°付近で画像の上下左右を反転します）

```
*** SET UP MENU ***
PRESET 1*
MAP ↵
HOME POSITION 15
SELF RETURN 10MIN
AUTO MODE AUTO PAN ↵
AUTO PAN KEY SEQ
DIGITAL FLIP OFF
LOCAL/REMOTE LOCAL
SPECIAL1 ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵
```

セットアップメニュー

- 1 カーソルを「DIGITAL FLIP」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON/OFFを切り換えます。
ON : デジタルフリップ機能を使用します。（PAN LIMITがONのときは90°までの回転となります。）
OFF : デジタルフリップ機能を使用しません。
垂直方向0°～90°の範囲で回転します。

メモ

- ・デジタルフリップ機能は、ジョイスティックつまみを真下に向け続けたときに動作します。上、斜め上、斜め下のときは動作しません。
- ・デジタルフリップ機能を「OFF」に設定している場合、カメラを垂直方向に180°動かすには次の操作が必要です。
 - ① ジョイスティックつまみを下に動かし、カメラを真下に向ける
 - ② ジョイスティックつまみを左または右に動かし、カメラを水平方向に180°回転する
 - ③ ジョイスティックつまみを上に動かす
- ・WJ-SX777AやWV-CU360によるプリセットのダイレクト設定時は、一時的にデジタルフリップ機能を「OFF」にすることをおすすめします。垂直方向90°～180°の範囲は設定できません。

コントローラー電源OFF時の動作設定 [LOCAL/REMOTE]

コントローラーの電源を切ったときの本機動作を設定します。

```
*** SET UP MENU ***
PRESET 1*
MAP ↵
HOME POSITION 15
SELF RETURN 10MIN
AUTO MODE AUTO PAN ↵
AUTO PAN KEY SEQ
DIGITAL FLIP OFF
LOCAL/REMOTE LOCAL
SPECIAL1 ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵
```

セットアップメニュー

1 カーソルを「LOCAL/REMOTE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かして、LOCAL/REMOTEを切り換えます

LOCAL : コントローラーの電源を切ってもオートモード (26ページ) の設定内容に従って動作します。

REMOTE : コントローラーの電源を切ると、約1分後にオートモードでの動作を終了します。

お願い

WV-CU360、WV-RM70との組み合わせでは「REMOTE」は使用できません。必ず「LOCAL」に設定してください。

特別メニューの設定 [SPECIAL1]

プライバシーゾーンやパトロール機能など、特別な機能を設定します。

特別メニューを表示する

```
*** SET UP MENU ***
PRESET 1*
MAP ↵
HOME POSITION 15
SELF RETURN 10MIN
AUTO MODE AUTO PAN ↵
AUTO PAN KEY SEQ
DIGITAL FLIP OFF
LOCAL/REMOTE LOCAL
SPECIAL1 ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵
```

セットアップメニュー

1 カーソルを「SPECIAL1 ↵」に合わせ、CAM (SET) キーを押します

特別メニューが表示されます。

次ページから各設定項目と操作方法の説明をします。

```
** SPECIAL 1 **
PRIVACY ZONE ON(ENB) ↵
PROPO,P/T OFF
AREA TITLE ON(NESW) ↵
PATROL PLAY
ALARM IN/OUT ↵
PASSWORD LOCK OFF ↵
CLEANING OFF
EL-ZOOM OFF
PRESET ALM ON
RET
```

特別メニュー

プリセット設定

プライバシーゾーンを設定する [PRIVACY ZONE]

撮影場所（画面）の中に映したくない部分がある場合、その部分だけを映さないようにする機能です。プライバシーゾーンは、8ヶ所まで設定できます。ただし、WIDE（広角）いっぱいに表示した1画面中に設定できるのは4ヶ所までです。

メモ

- ・「PASSWORD LOCK」が「ON」に設定されている場合、プライバシーゾーンの設定操作はできません。この場合、「PRIVACY ZONE」の項目は「ON (DIS)」または「OFF (DIS)」と表示されます。プライバシーゾーンの設定操作を行う場合は、事前に「PASSWORD LOCK」を「OFF」に設定してください。（40ページ）
- ・設定したプライバシーゾーンは、カメラの向きによっては映ってしまう場合もあります。
- ・電源投入直後の初期化動作時は、プライバシーゾーン機能は働きません。

** SPECIAL 1 **	
PRIVACY ZONE	ON(ENB) →
PROPO.P/T	OFF
AREA TITLE	ON(NESW) ↗
PATROL	PLAY
ALARM IN/OUT	↖
PASSWORD LOCK	OFF ↗
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	OFF
PRESET ALM	ON
RET	

特別メニュー

** ZONE NUMBER 1*/8 **	
RET	

ゾーン番号選択メニュー

ゾーン枠

** ZONE NUMBER 3*/8 **	
PAN/TILT	PUSH SET
ZOOM/FOCUS	PUSH SET
ZONE SCALE
SET DEL	- +
RET	

ゾーン設定メニュー

1 カーソルを「PRIVACY ZONE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON (ENB) /OFF (ENB) を切り換えます

ON (ENB) : プライバシーゾーンを使用します。

OFF (ENB) : プライバシーゾーンを使用しません。

プライバシーゾーンの設定は、手順2以降の操作を行います。

2 カーソルを「PRIVACY ZONE」の項目に合わせ、CAM (SET) キーを押します

ゾーン番号選択メニューが表示されます。エリア未設定時、画面はWIDE（広角）いっぱいの表示になります。

3 カーソルを「ZONE NUMBER」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、設定したいゾーン番号（1～8）を選択します

ゾーン番号右側の「*」印は、プライバシーゾーンが設定されていることを表します。この場合、設定時のズーム画角になります。

4 CAM (SET) キーを押し、ゾーン設定メニューを表示します

ゾーンの設定状態によりメニューは次のように表示されます。

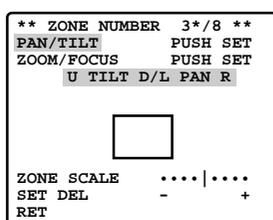
[設定済みのゾーン番号を選択した場合]

設定されているゾーンが画面中央に表示されます。

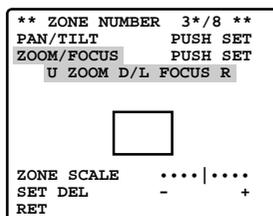
手順5以降の操作をすると、設定されているゾーンは消去され、新しいゾーンを設定する状態になります。

[未設定のゾーン番号を選択した場合]

- ・画面上に設定されているゾーンが3ヶ所以下のときは、ゾーン枠が表示されます。ただし、手順5,6のPAN/TILT操作でゾーンが4ヶ所存在する画面に移ったときは、ゾーン枠は表示されなくなります。
- ・画面上に設定されているゾーンが4ヶ所あるときは、ゾーン枠は表示されません。ただし、手順5,6のPAN/TILT操作でゾーンが3ヶ所以下の画面に移ったときは、ゾーン枠が表示されます。



PAN/TILT設定メニュー



ZOOM/FOCUS設定メニュー

5

PAN/TILT右側の「 PUSH SET」にカーソルを合わせてCAM (SET) キーを押し、PAN/TILT設定メニューを表示します

6

ジョイスティックつまみを上下左右に動かしてカメラの向き（水平・垂直位置）をゾーン設定したい場所に合わせ、CAM (SET) キーを押します

ゾーン枠が表示されないところ（垂直方向の約45°より下側）では設定できません。

カメラの向きが決定し、ゾーン設定メニューに戻ります

7

ZOOM/FOCUS右側の「 PUSH SET」にカーソルを合わせてCAM (SET) キーを押し、ZOOM/FOCUS設定メニューを表示します

8

ZOOMスイッチでズームを、FOCUSスイッチでフォーカスを調整し、CAM (SET) キーを押します

調整が完了し、ゾーン設定メニューに戻ります。

ズーム調整は1倍から10倍の範囲で設定できます。

9

カーソルを「ZONE SCALE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ゾーン枠の大きさを設定します

- 方向に動かすと小さくなり、+方向に動かすと大きくなります。ただし、縦横の比率は3:4に固定されています。

10

カーソルを「SET」に合わせ、CAM (SET) キーを押します
プライバシーゾーンの設定が完了し、ゾーン番号選択メニューに戻ります。

「DEL」を選択した場合は、ゾーンの設定を解除してゾーン番号選択メニューに戻ります。

プリセット設定

ズーム連動PAN/TILTスピード機能を設定する [PROPO. P/T]

ズーム比に応じてPAN/TILT（水平回転/垂直回転）の動作速度を自動調節する機能です。

同じ動作速度でPAN/TILT操作を行うと、ズーム位置がWIDE（広角）側のときはゆっくり動いているように感じますが、TELE（望遠）側のときは高速で動いているように感じ映像が見づらくなります。

ズーム連動PAN/TILTスピード機能を使用すると、ズーム比に応じてPAN/TILTの動作速度を自動調節するため、最適な映像を見ることができます。

** SPECIAL 1 **	
PRIVACY ZONE	ON(ENB) ↵
PROPO.P/T	OFF
AREA TITLE	ON(NESW) ↵
PATROL	PLAY
ALARM IN/OUT	↵
PASSWORD LOCK	OFF ↵
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	OFF
PRESET ALM	ON
RET	

特別メニュー

1 カーソルを「PROPO. P/T」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON/OFFを切り換えます

- ON : ズーム連動PAN/TILTスピード機能を使用します。
- OFF : ズーム連動PAN/TILTスピード機能を使用しません。

エリアタイトルを設定する [AREA TITLE]

撮影場所の方角を画面に表示する機能の設定です。また、方角の変わりに任意の文字を表示することもできます。

表示する方角は、N（北）、NE（北東）、E（東）、SE（南東）、S（南）、SW（南西）、W（西）、NW（北西）です。

** SPECIAL 1 **	
PRIVACY ZONE	ON(ENB) ↵
PROPO.P/T	OFF
AREA TITLE	ON(NESW) ↵
PATROL	PLAY
ALARM IN/OUT	↵
PASSWORD LOCK	OFF ↵
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	OFF
PRESET ALM	ON
RET	

特別メニュー

1 カーソルを「AREA TITLE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、エリアタイトルのON/OFFを設定します

- ON (NESW) : 方角を画面に表示します。
「ON (NESW)」を選択してCAM (SET) キーを押すと、ポジション (NESW) 設定メニューが表示され、詳細設定が行えます。(33ページ)
- ON (USER) : 設定した文字を画面に表示します。
「ON (USER)」を選択してCAM (SET) キーを押すと、エリアタイトル (USER) 選択メニューが表示され、詳細設定が行えます。(34ページ)
- OFF : エリアタイトルを表示しません。

(1) 「ON (NESW)」を選択した場合

ポジション (NESW) 設定メニューを表示して、詳細設定を行う場合の操作です。
「N (北)」の位置を設定することにより、他の方角が自動的に設定されます。

```
** DIRECTION(NESW) **
PAN/TILT      PUSH SET
ZOOM/FOCUS    PUSH SET
POSI ↕
+
N
RET
```

ポジション設定メニュー

```
** DIRECTION(NESW) **
PAN/TILT      PUSH SET
ZOOM/FOCUS    PUSH SET
POSI ↕
U TILT D/L PAN R
+
N
RET
```

PAN/TILT設定メニュー

```
** DIRECTION(NESW) **
PAN/TILT      PUSH SET
ZOOM/FOCUS    PUSH SET
POSI ↕
U ZOOM D/L FOCUS R
+
N
RET
```

ZOOM/FOCUS設定メニュー

```
FLOOR 1
N
```

表示位置設定メニュー

- 1 PAN/TILT右側の「 PUSH SET」にカーソルを合わせてCAM (SET) キーを押し、PAN/TILT設定メニューを表示します
- 2 ジョイスティックつまみを上下左右に動かしてカメラの向き (水平・垂直位置) を北の方角に合わせ、CAM (SET) キーを押します
- 3 ZOOM/FOCUS右側の「 PUSH SET」にカーソルを合わせてCAM (SET) キーを押し、ZOOM/FOCUS設定メニューを表示します
- 4 ZOOMスイッチでズームを、FOCUSスイッチでフォーカスを調整し、CAM (SET) キーを押します
- 5 カーソルを「POSI ↕」に合わせ、CAM (SET) キーを押します
表示位置設定メニューが表示されます。
- 6 ジョイスティックつまみを動かしてエリアタイトルの表示位置を設定し、MON (ESC) キーを押します
エリアタイトルの表示位置が決定し、エリアタイトル (NESW) 設定メニューに戻ります。

メモ

エリアタイトルは、常にカメラIDの下側に表示されます。カメラIDの表示位置とエリアタイトルの表示位置を別々の位置に設定した場合、エリアタイトルの表示位置設定が優先されます。

プリセット設定

(2)「ON (USER)」を選択した場合

エリアタイトル (USER) 選択メニューを表示して、詳細設定を行う場合の操作です。8種類の方角と、そのエリアタイトルを個別に設定していきます。

```
** AREA TITLE(USER) **
1*? NORTH ↴
2?  ↴
3? EAST ↴
4? SOUTH-EAST ↴
5? SOUTH ↴
6? SOUTH-WEST ↴
7?  ↴
8? NORTH-WEST ↴

RET RESET
```

エリアタイトル選択メニュー

```
** DIRECTION(USER) 1 **
PAN/TILT PUSH SET
ZOOM/FOCUS PUSH SET

+
NORTH

RET DEL
```

ポジション設定メニュー

```
AREA TITLE 1
0123456789
ABCDEFGHIJKLM
NOPQRSTUVWXYZ
().,/'";&#!?=-
+*/%$

SPACE KANA
— POSI RET RESET

↑.....
```

エリアタイトル設定メニュー

```
FLOOR 1
NORTH
```

表示位置設定メニュー

1 カーソルをエリア番号「1」に合わせてCAM (SET) キーを押し、ポジション設定メニューを表示します

番号右側の「*」印は、エリアタイトルが設定されていることを表します。

タイトル名が設定されていると、「+」印の下に表示されます。設定されていないときは、「+」印のみ表示されます。

2 カメラの向き (水平・垂直位置)、ズーム位置、フォーカス調整を行います

操作方法は、「(1) ON (NESW) を選択した場合」の手順1,2,3,4と同じです。(33ページ)

3 カーソルをタイトル名表示部に合わせてCAM (SET) キーを押し、エリアタイトル設定メニューを表示します

左記エリアタイトル選択メニューでは「NORTH ↴」がエリア番号1のタイトル名表示部になります。

4 エリアタイトルを設定します

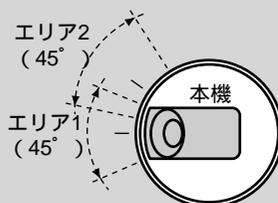
操作方法は、プリセットIDの設定方法と同じです。

「プリセットIDを設定する (14,15ページ)」の手順3,4,5の操作を行い、タイトル名と表示位置を設定してください。

5 手順1~4の操作をくり返し、エリア番号2~8を設定します

メモ

- エリアタイトルの表示範囲は、手順2で設定した位置を中心に45°の範囲内です。カメラの向きが他のエリア番号と重なる位置では、近いエリア番号のタイトルが表示されます。同一の位置に設定すると、大きいエリア番号のタイトルが表示されます。



- エリアタイトルは、常にカメラIDの下側に表示されます。カメラIDの表示位置とエリアタイトルの表示位置を別々の位置に設定した場合、エリアタイトルの表示位置設定が優先されます。

パトロール機能を設定する [PATROL]

手で操作した内容を記憶し、再現する機能です。最大30秒間の動作を記憶できます。例えば、店の入口から売場までの人の動きを追跡して監視したいときなど、カメラの動作を手動操作することにより、その内容が記憶されます。記憶した操作内容を再現することにより、そのカメラ動作で監視が行えます。

** SPECIAL 1 **	
PRIVACY ZONE	ON(ENE) ↵
PROPO.P/T	OFF
AREA TITLE	ON(NESW) ↵
PATROL	PLAY
ALARM IN/OUT	↵
PASSWORD LOCK	OFF ↵
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	OFF
PRESET ALM	ON
RET	

特別メニュー

1 カメラの動作を記憶するときは、カメラの向きを動作開始位置に合わせます

2 カーソルを「PATROL」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、パトロール機能を設定します

STOP : パトロール機能を使用しません。

PLAY : 記憶したカメラ動作を再現します。

(37ページ)

LEARN : カメラ動作を記憶します。(36ページ)

メモ

「LEARN」を選択してカメラ動作を記憶する場合、記憶される内容は次のとおりです。

①動作開始位置記憶時

- ・ PAN/TILT/ZOOM/FOCUSの位置
- ・ IRISのレベル
- ・ シャッター速度 (SHUTTER) のレベル
- ・ ゲイン (AGC) の設定
- ・ 電子感度アップ (SENS UP) の設定
- ・ ホワイトバランス (WHITE BAL) の設定

②カメラ操作時

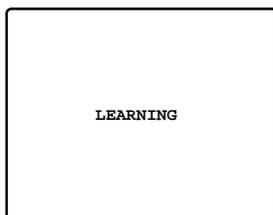
- ・ PAN/TILT/ZOOM/FOCUS
- ・ IRISのOPEN/CLOSE
- ・ プリセットポジションの移動

プリセット設定

(1) カメラ動作を記憶する (LEARNを選択した場合)

[カメラパトロールキーのあるコントローラー使用時]

- 1 カメラ設定キーとカメラパトロールキーを同時に押します
開始位置が記憶され、カメラ動作を記憶する状態になります。
- 2 カメラを操作し、動作を記憶します
記憶中は画面中央に「LEARNING」の文字が表示されます。
- 3 パトロール停止キーを押し、記憶を停止します
設定メニューの表示、または記憶可能時間 (容量) に到達したときも記憶を停止します。



記憶中の画面

[カメラパトロールキーのないコントローラー使用時]

- 1 設定メニュー (特別メニュー、セットアップメニュー) を消します
開始位置が記憶され、カメラ動作を記憶する状態になります。
- 2 カメラを操作し、動作を記憶します
記憶中は画面中央に「LEARNING」の文字が表示されます。
- 3 セットアップメニューを表示し、記憶を停止します
記憶可能時間 (容量) に到達したときも記憶を停止します。

メモ

- ・記憶中に電源が切れた場合は、最初から設定をし直してください。
- ・詳細はコントローラーの取扱説明書をご覧ください。

(2) 記憶したカメラ動作を再現する (PLAYを選択した場合)

[カメラパトロールキーのあるコントローラー使用時]

- 1** カメラパトロールキーを押します
カメラの向きが開始位置に移動し、記憶したカメラ動作を再現します。
- 2** 再現を終了するときは、パトロール停止キーを押します
IRISを除く手動操作をしたときも再現を停止します。

[カメラパトロールキーのないコントローラー使用時]

- 1** 設定メニュー (特別メニュー、セットアップメニュー) を消します
カメラの向きが開始位置に移動し、記憶したカメラ動作を再現します。
- 2** 再現を終了するときは、IRIS以外の手動操作をします
オートフォーカスの起動操作でも再現を停止します。

[AUTO PANキーを使用する場合]

AUTO PANキー機能の設定 (28ページ) を「PATROL」にした場合の操作です。

- 1** AUTO PANキーを押します
カメラの向きが開始位置に移動し、記憶したカメラ動作を再現します。
- 2** 再現を終了するときは、パトロール停止キーを押します
IRISを除く手動操作をしたときも再現を停止します。

メモ

パトロール機能のPLAY中に、レンズがリフレッシュモードに入ることがあります。

プリセット設定

アラーム機能を設定する [ALARM IN/OUT]

本機のアラーム入力ケーブル、アラーム出力ケーブルにアラーム信号の入出力があった場合の動作設定を行います。

```
** SPECIAL 1 **
PRIVACY ZONE ON(ENB) ↵
PROPO.P/T OFF
AREA TITLE ON(NESW)↵
PATROL PLAY
ALARM IN/OUT ↵
PASSWORD LOCK OFF ↵
CLEANING OFF
EL-ZOOM OFF
PRESET ALM ON
RET
```

特別メニュー

```
** ALARM IN/OUT **
ALARM IN 1 1POSI
ALARM IN 2 2POSI
ALARM IN 3 OFF
ALARM IN 4 BW

CNT-CLS 1 ALARM
TIME OUT 100MS
CNT-CLS 2 AUX2
COAX ALM OUT ON
RET
```

アラーム設定メニュー

- 1 カーソルをALARM IN/OUT右側の「↵」に合わせ、CAM (SET) キーを押します
アラーム設定メニューが表示されます。
- 2 カーソルを「ALARM IN 1」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、外部からアラーム入力1端子に信号を受けたときのカメラ動作を設定します
OFF : アラーム入力前と同じ動作をします。
1POSI : プリセット番号1のポジションに移動します。
- 3 カーソルを「ALARM IN 2」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、外部からアラーム入力2端子に信号を受けたときの動作を設定します
OFF : アラーム入力前と同じ動作をします。
2POSI : プリセット番号2のポジションに移動します。
- 4 カーソルを「ALARM IN 3」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、外部からアラーム入力3端子に信号を受けたときの動作を設定します
OFF : アラーム入力前と同じ動作をします。
3POSI : プリセット番号3のポジションに移動します。
- 5 カーソルを「ALARM IN 4」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、外部からアラーム入力4端子に信号を受けたときの動作を設定します
OFF : アラーム入力前と同じ動作をします。
4POSI : プリセット番号4のポジションに移動します。
BW : アラーム信号が入力されている間、白黒の映像に切り換えます。信号が途切れるとカラー映像に戻ります。

メモ

アラーム入力によるプリセット移動中に、さらに複数の入力があったときは、移動完了後、小さいプリセット番号から順番に実行されます。

6 カーソルを「CNT-CLS 1」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、アラーム検知時のアラーム出力1端子から外部へのアラーム出力動作を設定します

- OFF : 外部へのアラーム出力はしません。
- ALARM : モーションディテクター機能 (20ページ)
およびプリセットアラーム機能 (43ページ)
にてアラームを検知したときにアラーム信号
を出力します。この設定にした場合は、アラ
ーム信号の出力時間を手順7で設定します。
- AUX1 : コントローラーから「AUX1」の入力があつた
ときにアラーム信号を出力します。

7 手順6で「ALARM」を選択したときは、カーソルを「TIME OUT」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、アラーム信号の出力時間を設定します

出力時間は次のように切り換わります。

100MS ↔ 200MS ↔ 1000MS ↔ 2000MS ↔ 4000MS

8 カーソルを「CNT-CLS 2」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、アラーム検知時のアラーム出力2端子から外部へのアラーム出力動作を設定します

- OFF : 外部へのアラーム出力はしません。
- BW : 白黒映像に切り換わっている間だけアラーム
信号を出力します。
- AUX2 : コントローラーから「AUX2」の入力があつた
ときにアラーム信号を出力します。

9 カーソルを「COAX ALM OUT」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON/OFFを切り換えます

手順2,3,4,5でALARM IN 1~4を「1POSI」「2POSI」「3POSI」「4POSI」に設定した場合のアラーム出力動作設定です。

- ON : アラーム入力1~4端子にアラーム入力があり、カ
メラの向きがプリセット番号1~4に移動完了した
時点で映像出力ケーブルからアラーム信号を出力
します。
- OFF : アラーム信号を出力しません。

メモ

プリセットデータのダウンロード、アップロード時は「OFF」にしてください。

プリセット設定

パスワードロック機能を設定する [PASSWORD LOCK]

プライバシーゾーンの設定 (30ページ) において、パスワード入力が必要とするかしないかを設定します。

設定内容は次のとおりです。ON OFFへの切り換え、およびOFF ONへの切り換えには、必ずパスワード入力が必要となります。

ON : パスワード入力が必要です。「PRIVACY ZONE」の項目は「ON (DIS)」または「OFF (DIS)」と表示されます。

特定の管理者だけがプライバシーゾーンの設定をする場合はこの設定にします。

OFF : パスワード入力は不要です。「PRIVACY ZONE」の項目は「ON (ENB)」または「OFF (ENB)」と表示され、ゾーン番号選択メニューを表示してプライバシーゾーンを設定することができます。

(1) ON/OFFを切り換える

VTRに録画していると、入力操作が録画されパスワードがわかってしまいますので、ご注意ください。

```
** SPECIAL 1 **
PRIVACY ZONE ON(ENB) ↵
PROPO.P/T OFF
AREA TITLE ON(NESW) ↵
PATROL PLAY
ALARM IN/OUT ↵
PASSWORD LOCK OFF ↵
CLEANING OFF
EL-ZOOM OFF
PRESET ALM ON
RET
```

特別メニュー

```
** PASSWORD? **
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
. . .
↑
OK RESET
NEW PASSWORD ↵
RET
```

パスワード入力メニュー

1 カーソルを「PASSWORD LOCK」の項目 (ONまたはOFF) に合わせ、CAM (SET) キーを押します
パスワード入力メニューが表示されます。

2 カーソルを数字 (0 ~ 9) に合わせてCAM (SET) キーを押し、パスワード (3桁) を入力します
1桁入力するごとに「 」印が右に移動し、3桁のパスワードを入力するとカーソルが「OK」に移動します。

メモ

工場出荷時のパスワードは「123」です。

入力を間違えたときは、「RESET」にカーソルを合わせてCAM (SET) キーを押し、最初からパスワードを入れ直してください。

3 CAM (SET) キーを押します
特別メニューに戻り、PASSWORD LOCKのON/OFFが切り換わります。
誤ったパスワードが入力されると、再度パスワードを入力する状態になりますので、手順2の操作を行ってください。

(2) パスワードを変更する

パスワードロック機能を「ON」で使用する場合は、工場出荷時のパスワードを変更することをおすすめします。設定したパスワードは忘れないように注意してください。

```
** SPECIAL 1 **
PRIVACY ZONE ON(ENE) ↵
PROPO.P/T OFF
AREA TITLE ON(NESW) ↵
PATROL PLAY
ALARM IN/OUT ↵
PASSWORD LOCK OFF ↵
CLEANING OFF
EL-ZOOM OFF
PRESET ALM ON
RET
```

特別メニュー

```
** PASSWORD? **
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
      . . .
      ↑
OK RESET
NEW PASSWORD ↵
RET
```

パスワード入力メニュー

```
** NEW PASSWORD? **
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
      . . .
      ↑
OK RESET
RET
```

パスワード設定メニュー

- 1 カーソルを「PASSWORD LOCK」の項目（ONまたはOFF）に合わせ、CAM（SET）キーを押します
パスワード入力メニューが表示されます。
- 2 カーソルを数字（0～9）に合わせてCAM（SET）キーを押し、現在のパスワード（3桁）を入力します
1桁入力するごとに「」印が右に移動し、3桁のパスワードを入力するとカーソルが「OK」に移動します。
入力を間違えたときは、「RESET」にカーソルを合わせてCAM（SET）キーを押し、最初からパスワードを入れ直してください。
- 3 カーソルを「NEW PASSWORD」に合わせ、CAM（SET）キーを押し、パスワード設定メニューを表示します
誤ったパスワードが入力されると、再度パスワードを入力する状態になりますので、手順2の操作を行ってください。
- 4 カーソルを数字（0～9）に合わせてCAM（SET）キーを押し、新しいパスワード（3桁）を入力します
カーソルが「OK」に移動します。
- 5 CAM（SET）キーを押します
もう一度新しいパスワードを入力する状態になります。
MON（ESC）キーでは設定できません。
- 6 カーソルを数字（0～9）に合わせてCAM（SET）キーを押し、もう一度新しいパスワード（3桁）を入力します
カーソルが「OK」に移動します。
- 7 CAM（SET）キーを押します
パスワードの変更が完了し、特別メニューに戻ります。1回目と2回目に入力したパスワードが違っていると、再度パスワードを入力する状態になりますので手順4,5,6,7の操作を行ってください。MON（ESC）キーでは設定できません。

プリセット設定

クリーニング機能を設定する [CLEANING]

本機ではスリップリングと呼ばれる部品を使って電源や信号の伝達を行っています。このスリップリングが汚れると、画質の劣化やノイズが発生することがあります。

クリーニング機能を使用すると、約1週間ごとにクリーニング機能が働き、スリップリングの汚れを除去することができます。

** SPECIAL 1 **	
PRIVACY ZONE	ON(ENB) ↗
PROPO.P/T	OFF
AREA TITLE	ON(NESW)↗
PATROL	PLAY
ALARM IN/OUT	↗
PASSWORD LOCK	OFF ↗
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	OFF
PRESET ALM	ON
RET	

特別メニュー

1 カーソルを「CLEANING」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON/OFFを切り換えます

ON : クリーニング機能を使用します。

OFF : クリーニング機能を使用しません。

クリーニング機能が働いているときは、画面中央に「CLEANING」の文字が表示されます。



クリーニング中の画面

メモ

システム機器とデータのアップロード、ダウンロードをするときは、クリーニング機能を「OFF」にしてください。途中でクリーニング機能が働くと、アップロード、ダウンロードが失敗します。

電子ズーム機能を設定する [EL-ZOOM]

電子ズーム（10倍）機能のON/OFFを設定します。

本機には22倍ズームレンズが搭載されていますが、電子ズーム機能を使用することにより、約220倍まで倍率を変えることができます。

** SPECIAL 1 **	
PRIVACY ZONE	ON(ENB) ↗
PROPO.P/T	OFF
AREA TITLE	ON(NESW)↗
PATROL	PLAY
ALARM IN/OUT	↗
PASSWORD LOCK	OFF ↗
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	OFF
PRESET ALM	ON
RET	

特別メニュー

1 カーソルを「EL-ZOOM」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON/OFFを切り換えます

ON : 電子ズーム機能を使用します。

OFF : 電子ズーム機能を使用しません。

メモ

- ・電子ズームの倍率を上げると画質が悪化します。
- ・電子ズーム機能は、プリセットポジション設定では動きません。

プリセットアラーム機能を設定する [PRESET ALM]

カメラの向きがプリセットポジションへ移動完了したときに、映像出力ケーブルおよびアラーム出力ケーブルにアラームを出力する設定です。

アラームを出力する条件は次のとおりです。

- SELF RETURN機能 (25ページ) が働き、ホームポジションに移動が完了したときにアラームを出力する。
- オートモードの設定 (26ページ) が「SEQ」の場合、シーケンス動作によるプリセットポジション移動が完了したときにアラームを出力する。
- オートモードの設定 (26ページ) が「SORT」の場合、シーケンス動作によるプリセットポジション移動が完了したときにアラームを出力する。
- オートモードの設定 (26ページ) が「AUTO PAN」の場合、AUTO PAN開始位置までのプリセット移動が完了したときにアラームを出力する。
- 手動操作によりプリセットポジション移動が完了したときにアラームを出力する。
- パトロール機能の設定 (35ページ) が「PLAY」の場合、開始位置までのプリセット移動が完了するごとにアラームを出力する。

設定方法は次のとおりです。

** SPECIAL 1 **	
PRIVACY ZONE	ON(ENB) ↵
PROPO.P/T	OFF
AREA TITLE	ON(NESW) ↵
PATROL	PLAY
ALARM IN/OUT	↵
PASSWORD LOCK	OFF ↵
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	OFF
PRESET ALM	ON
RET	

特別メニュー

1 カーソルを「PRESET ALM」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ON/OFFを切り換えます

ON : プリセットアラーム機能を使用します。

OFF : プリセットアラーム機能を使用しません。

メモ

プリセットデータのダウンロード、アップロード時は「OFF」にしてください。

プリセット設定

カメラ交換時のカメラ位置調整 [PAN OFFSET SET]

カメラのプリセット設定は、コントローラーにダウンロード（保存）することができます。これは、予期せぬ障害や事故によって失われたカメラ側の設定情報を、ダウンロード（保存）した情報を元に回復するための機能です。

ただし、カメラ交換時にアップロード（回復）すると、交換前の映像と微妙な位置ずれを起こすことがあります。この位置ずれを調整する機能が「PAN OFFSET SET」です。

調整方法は次のとおりです。

重要!!

従来のカメラ（WV-CS600, WV-CS600A, WV-CS650）とはデータの互換性はありません。従来カメラの設定情報を本機にアップロードすると、本機のデータが破壊されます。本機のデータを破壊してしまったときは、工場出荷状態の本機を準備してプリセット設定をダウンロードし、データを壊したカメラへアップロードしてください。

```
*** SET UP MENU ***
PRESET 1*
MAP ↵
HOME POSITION 15
SELF RETURN 10MIN
AUTO MODE AUTO PAN ↵
AUTO PAN KEY SEQ
DIGITAL FLIP OFF
LOCAL/REMOTE LOCAL
SPECIAL1 ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵
```

セットアップメニュー

```
PRESET NO. 1*
POSITION SET ↵
PRESET ID ON ↵
ALC/MANUAL ALC ↵
STOP TIME 10S
SCENE FILE 1 ↵
PRESET SPEED .....|.....
L H
RET DEL
```

プリセット設定メニュー

```
** POSITION 1 **
PAN/TILT PUSH SET
ZOOM/FOCUS PUSH SET
PAN OFFSET SET ■ - 10.0
RET
FLOOR1
DOOR
```

ポジション設定メニュー

- 1 調整に使用するプリセットポジションを選択し、そのカメラ映像をTELE（望遠）側で表示します
- 2 セットアップメニューを表示します
- 3 カーソルをPRESETの設定項目「1*」に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、手順1で表示したカメラ映像のプリセット番号（1～64）に切り換えます
- 4 カーソルを「POSITION SET ↵」に合わせてCAM（SET）キーを押し、ポジション設定メニューを表示します
- 5 「PAN OFFSET SET」の項目（または ）にカーソルを合わせてCAM（SET）キーを押し、オフセット値を設定します。オフセット値は、0.0、-10.0～+10.0の範囲で設定します。オフセット値を設定することにより、すべてのプリセットポジションのカメラ位置が修正されます。

メモ

設定したオフセット値はダウンロードされません。例えば、オフセット値を「+1.0」に設定してあるカメラの情報をダウンロードして交換したカメラにアップロードする場合、交換したカメラのオフセット値が「+1.0」以外の場合は位置がずれます。

カメラ設定

カメラ設定メニューを表示する

```
*** SET UP MENU ***
PRESET 1*
MAP ↵
HOME POSITION 15
SELF RETURN 10MIN
AUTO MODE AUTO PAN ↵
AUTO PAN KEY SEQ
DIGITAL FLIP OFF
LOCAL/REMOTE LOCAL
SPECIAL1 ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵
```

セットアップメニュー

- 1 カーソルを「CAMERA ↵」に合わせ、CAM (SET) キーを押します
カメラ設定メニューが表示されます。

カメラ設定メニューについて

** SET UP **			
CAMERA ID	ON ↵	12	
ALC/MANUAL	ALC ↵	13	13
SHUTTER	OFF	14	
AGC	ON	15	15
SENS UP	OFF	16	
SYNC	INT ↵	17	17
WHITE BAL	ATW ↵	18	
MOTION DET	ON ↵	19	19
AF MODE	NORMAL M	20	
RET	SPECIAL2 ↵	21	21

- 12 CAMERA ID : カメラIDを設定します。カメラの設置場所などを英数記号、カタカナで表したものをカメラIDといい、モニター画面上に表示できます。設定方法はプリセットIDの設定と同じです。14ページをご覧ください。
- 13 ALC/MANUAL : レンズの絞り方法を設定します。設定方法はプリセット設定と同じです。16ページをご覧ください。ただし、MANUAL時の詳細設定は、全設定メニューを消したあとコントローラーのアイリススイッチで行います。
- 14 SHUTTER : 電子シャッターの速度を設定します。設定方法はシーンファイルの設定と同じです。19ページ、手順3をご覧ください。
- 15 AGC : ゲインの調整方法を設定します。設定方法はシーンファイルの設定と同じです。19ページ、手順4をご覧ください。
- 16 SENS UP : 電子感度アップを設定します。設定方法はシーンファイルの設定と同じです。19ページ、手順5をご覧ください。
- 17 SYNC : 同期方式を設定します。46ページをご覧ください。
- 18 WHITE BAL : ホワイトバランスの調整方法を設定します。設定方法はシーンファイルの設定と同じです。20ページ、手順6をご覧ください。
- 19 MOTION DET : モーションディテクター機能を設定します。設定方法はシーンファイルの設定と同じです。20ページ、手順7をご覧ください。
- 20 AF MODE : オートフォーカスの動作モードを設定します。設定方法はシーンファイルの設定と同じです。21ページ、手順8をご覧ください。
- 21 SPECIAL2 : カメラの画質を調整します。47ページをご覧ください。

カメラ設定

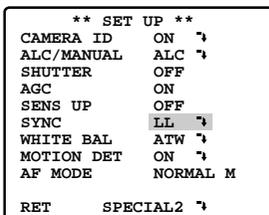
同期方式を設定する

本機は次に示す3種類の同期方式に対応しています。また、記載順序は同期方式の優先順位を表しています。

- ① 多重化垂直ドライブ信号 (VD2)
- ② 内部同期信号 (INT)
- ③ 電源同期信号 (LL)

多重化垂直ドライブ信号 (VD2) が入力された場合は、カメラが他の同期方式に設定してある場合でも、自動的にVD2同期に切り換わります。この場合、カメラ設定メニューには「EXT (VD2)」と表示され、内部同期 (INT) および電源同期 (LL) へは切り換えられません。

ここでは、内部同期 (INT)、電源同期 (LL) の設定方法と、電源同期 (LL) 設定時の位相調整方法について説明します。



カメラ設定メニュー

- 1 カーソルを「SYNC」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、同期方式を切り換えます

INT : 内部同期

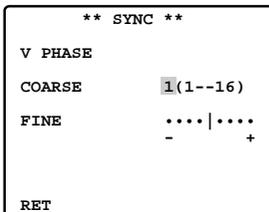
LL : 電源同期 (50 Hz地域では使用できません)

「LL」を選択してCAM (SET) キーを押すと、位相調整メニューが表示され、詳細設定が行えます。
(下記)

位相調整を行う (電源同期選択時)

調整するカメラの映像信号と、基準となるカメラの映像出力信号を二重トレースオシロスコープに接続してください。

オシロスコープは垂直レートにセットし、オシロスコープの垂直同期部を拡大してください。



位相調整メニュー

- 1 カーソルを「COARSE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、調整するカメラと基準カメラの垂直位相を粗調整します

粗調整は16段階 (1~16) の調整ができます。16段階進むと最初の段階に戻ります。

- 2 カーソルを「FINE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、調整するカメラと基準カメラの垂直位相を微調整します

カメラの画質を調整する

カメラ特別メニューを表示してカメラの画質を調整します。

カメラ特別メニューを表示する

** SET UP **	
CAMERA ID	ON ↗
ALC/MANUAL	ALC ↗
SHUTTER	OFF
AGC	ON
SENS UP	OFF
SYNC	INT
WHITE BAL	ATW ↗
MOTION DET	ON ↗
AF MODE	NORMAL M
RET	SPECIAL2 ↘

カメラ設定メニュー

- 1 カーソルを「SPECIAL2 ↘」に合わせ、F2キーを押します
カメラ特別メニューが表示されます。

WV-CU550A以外のコントローラーを使用している場合は、次の操作でカメラ特別メニューを表示してください。

- WV-CU360 : テンキーの左右方向スイッチを約2秒間同時に押します
- WV-CU151 : テンキーの左右方向スイッチを約2秒間同時に押します
- WV-RM70 : 左右方向スイッチを約2秒間同時に押します

画質の調整を行う

** SPECIAL2 **	
CHROMA GAIN
AP GAIN
PEDESTAL
HUE
BW	AUTO
BURST(BW)	ON
REFRESH	PUSH SW
CAMERA RESET	PUSH SW
RET	

カメラ特別メニュー

- 1 カーソルを「CHROMA GAIN」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、クロマレベル（色度）を調整します
ベクトル色度指示器がカラービデオモニターを見ながら調整してください。
- 2 カーソルを「AP GAIN」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、アパーチャレベルを調整します
- 方向に動かすとソフトな画面に、+ 方向に動かすとシャープな画面になります。
カラービデオモニターを見ながら調整してください。
- 3 カーソルを「PEDESTAL」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ペDESTALレベルを調整します
- 方向に動かすと暗い画面に、+ 方向に動かすと明るい画面になります。

(次ページへつづく)

カメラ設定

4 カーソルを「HUE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、クロマ位相（色調）レベルを調整します

ベクトル色度指示器かカラービデオモニターを見ながら調整してください。

5 カーソルを「BW」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、画面の白黒制御を設定します

AUTO : 画面の明るさ（照度）により、カラー映像と白黒映像を自動的に切り換えます。

暗い場合は白黒映像に、明るい場合はカラー映像になります。

ON : 白黒映像を表示します。

OFF : カラー映像を表示します。

メモ

・ALARM IN 4の設定（ 38ページ）が「BW」のときは、上記設定は行えません。

・「AUTO」を選択した場合、回転台やズーム・フォーカスの動作中はカラー映像と白黒映像の切り換えは働きません。

カラー映像と白黒映像の切り換えは、動作停止中に、明るさ（照度）を認識してから約1～2分後に行われます。

6 カーソルを「BURST (BW)」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、バースト信号出力のON/OFFを設定します

白黒画面を表示する場合の設定です。

ON : バースト信号を出力します。

OFF : バースト信号を出力しません。

メモ

カメラ映像を白黒で表示する場合、モニターやVTRの種類によってはバースト信号がないと正常に映像が表示されない機器があります。このような機器を使用するときは「ON」に設定します。

7 使用中にポジションの位置がずれたときは、カーソルを REFRESH右側の「 PUSH SET」に合わせ、F2キーを押します

位置が補正されます。

WV-CU550A以外のコントローラーを使用している場合は、次の操作をしてください。

WV-CU360 : テンキーの左右方向スイッチを約2秒間同時に押します

WV-CU151 : テンキーの左右方向スイッチを約2秒間同時に押します

WV-RM70 : 左右方向スイッチを約2秒間同時に押します

8 カメラの設定内容を初期値に戻すときは、カーソルを CAMERA RESET右側の「 PUSH SET」に合わせ、F3キーを押します

設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。ただし、パスワードとプライバシーゾーンの設定内容は変更されません。

WV-CU550A以外のコントローラーを使用している場合は、次の操作をしてください。

WV-CU360 : テンキーの左右方向スイッチと [5] キーを同時に押しつづけます

WV-CU151 : テンキーの左右方向スイッチと設定スイッチを同時に押しつづけます

WV-RM70 : 左右方向スイッチと設定スイッチを同時に押しつづけます

メモ

クロマレベル(手順1)、アパーチャレベル(手順2)、ペDESTALレベル(手順3)、クロマ位相レベル(手順4)の設定時に、各設定項目にカーソルを合わせた状態で次の操作をすると、それぞれの設定値を初期値(工場出荷時の状態)に戻すことができます。

WV-CU550A : F2キーを押します。

WV-CU360 : テンキーの左右方向スイッチを約2秒間同時に押します

WV-CU151 : テンキーの左右方向スイッチを約2秒間同時に押します

WV-RM70 : 左右方向スイッチを同時に押しつづけます。

RS485設定

本機のRS485ケーブルを使用して、コントローラーから本機を制御（回転台操作など）する場合の環境設定を行います。

```
*** SET UP MENU ***
PRESET 1*
MAP ↵
HOME POSITION 15
SELF RETURN 10MIN
AUTO MODE AUTO PAN ↵
AUTO PAN KEY SEQ
DIGITAL FLIP OFF
LOCAL/REMOTE LOCAL
SPECIALI ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵
```

セットアップメニュー

```
** RS485 SET UP **
UNIT NUMBER 1
SUB ADDRESS 1
BAUD RATE 19200
DATA BIT 8
PARITY CHECK NONE
STOP BIT 1
XON/XOFF NOT USE
WAIT TIME OFF
ALARM DATA AUTO2
DELAY TIME OFF
RET
```

RS485設定メニュー

メモ

1999年11月現在では、サブアドレスを使用するシステムはありません。サブアドレスの設定については販売店にお問い合わせください。

- 1 カーソルを「RS485 SET UP ↵」に合わせてCAM (SET) キーを押し、RS485設定メニューを表示します
- 2 ユニット番号を確認します
DIPスイッチ1で設定したユニット番号が「UNIT NUMBER」の項目に表示されます。工場出荷時の設定は「1」です。
DIPスイッチ1の設定でユニット番号「1~32」または「1~96」を選択した場合は、「UNIT NUMBER」の項目にカーソルを合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ユニット番号（1~32または1~96）を設定します。
- 3 サブアドレスを設定する場合は、カーソルを「SUB ADDRESS」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、サブアドレス番号（1~999）を設定します
DIPスイッチ1の設定で松下新プロトコルを選択した場合のみ設定できます。
- 4 カーソルを「BAUD RATE」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ボーレートを設定します
ボーレート（転送速度、単位：bps）は次のように切り換わります。工場出荷時の設定は「19200」です。
2400↔4800↔9600↔19200
- 5 カーソルを「DATA BIT」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、データビット（7または8）を設定します
工場出荷時の設定は「8」です。
- 6 カーソルを「PARITY CHECK」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、パリティビット（NONE/ODD/EVEN）を設定します
工場出荷時の設定は「NONE」です。
- 7 カーソルを「STOP BIT」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、ストップビット（1または2）を設定します
工場出荷時の設定は「1」です。

8 カーソルを「XON/XOFF」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、XON/XOFF機能を設定します
工場出荷時の設定は「NOT USE」です。

NOT USE : XON/XOFFのコードによるデータフロー制御をしません。

USE : XON/XOFFのコードによるデータフロー制御をします。

9 カーソルを「WAIT TIME」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、再送時間を設定します
再送時間とは、送信したデータの受信確認 (ACK) が無かったときに、再度データを送るまでの時間をいいます。
再送時間は次のように切り換わります。工場出荷時の設定は「OFF」です。

OFF ↔ 100MS ↔ 200MS ↔ 400MS ↔ 1000MS

10 カーソルを「ALARM DATA」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、アラームデータの送信方法を設定します

[DIPスイッチ1の設定で松下旧プロトコルを選択した場合]

POLLING : コントローラーからの要求により送信します。

AUTO1 : アラーム信号が入力されたときに送信します。

AUTO2 : 5秒間隔で送信します。工場出荷時の設定です。

[DIPスイッチ1の設定で松下新プロトコルを選択した場合]

OFF : コントローラーからの要求により送信します。

0S : アラーム信号が入力されたときに送信します。

1S : 1秒間隔で送信します。工場出荷時の設定です。

5S : 5秒間隔で送信します。

11 カーソルを「DELAY TIME」の項目に合わせてジョイスティックつまみを左または右に動かし、遅延時間 (OFF/100MS) を設定します

遅延時間とは、受信確認 (ACK) を送信するまでの時間をいいます。工場出荷時の設定は「OFF」です。

この設定は、DIPスイッチ2の設定で「2線式通信」を選択している場合のみ行えます。

設置上のお願い

⚠ 警告

工事は必ず販売店に依頼してください。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

カメラは水平（ドーム下向き）に取り付けてください

防水性について

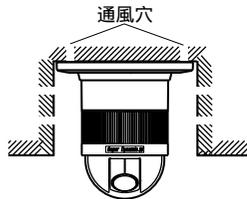
本機の防水性はJIS 保護等級で防滴 形です。軒下への設置が限界ですので、雨が直接当たるような場所には設置しないでください。

エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化するところには設置しないでください

ドームカバーが曇ったり、結露する場合があります。

放熱について

本機は、カメラ本体部表面より放熱をさせています。壁などに囲まれ、熱がこもる場所に設置するときは、通風穴を設けてください。



カメラの取付場所について

- ・強度が十分ある天井（コンクリート天井など）に取り付けてください。
- ・強度が不十分な天井（二重天井など）に取り付ける場合は、別売のカメラ天井直付金具 WV-Q105、またはカメラ天井埋込金具 WV-Q106を使用してください。
- ・天井から吊り下げて取り付ける場合は、別売のカメラ天井吊り下げ金具 WV-Q107Aを使用してください。
- ・壁に取り付ける場合は、別売のカメラ壁取付金具 WV-Q108Aを使用してください。

取付ねじは、別途ご用意ください

本機を取り付けるねじは付属されていません。取付場所の材質や構造、総質量を考慮してご用意ください。

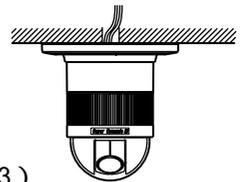
カメラの電源が入/切できるように電源工事をしてください

本機には電源スイッチがありませんので、電源プラグをコンセントに差し込むと電源が投入されます。電源工事の際は、カメラの電源を入/切できるようにしてください。本機は、電源投入時にセルフクリーニング機能（PAN/TILT/ZOOM/FOCUS動作）が働くようになっています。

ケーブル類（電源、映像出力、RS485、アラーム入力、アラーム出力）の配線について

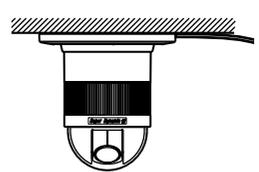
本機のケーブル類は、天面および側面から引き出して配線することができます。

- ・天面から引き出す場合は、天井に線材を通す穴を開けてください。



（ 57ページ、手順3）

- ・側面から引き出す場合は、カメラ本体のダイカストケースと飾りカバーを加工してください。（ 57ページ、本機と飾りカバーを加工する）



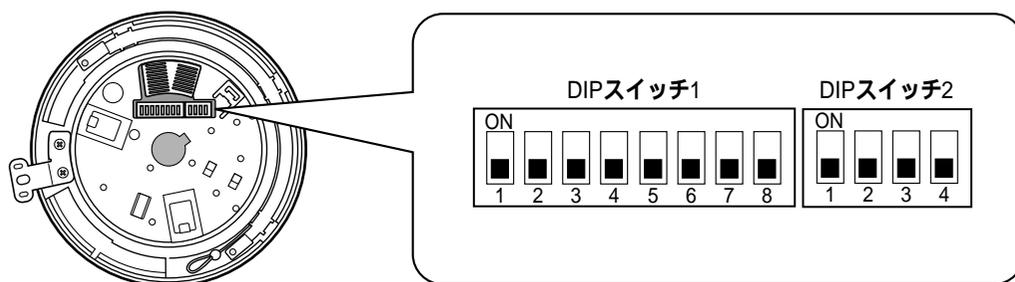
湿度に注意してください

湿度の高いときに本機の設置を行うと、内部に湿気がたまりドームカバー内が曇ることがあります。曇ったときは湿度の低いときにドームカバーを外し、内部の湿気を出してから設置してください。（ 7ページ）

DIPスイッチの設定

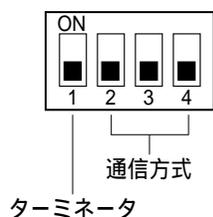
本機のRS485ケーブルを使用して、コントローラーから本機を制御（回転台操作など）する場合は、本機のDIPスイッチでユニット番号と通信方式を設定する必要があります。

DIPスイッチは、ベースユニットを取り外したところにあります。ベースユニットの外しかたは、57ページの手順1,2をご覧ください。



通信方式（DIPスイッチ2）の設定

工場出荷時は、すべて「OFF」に設定されています。（ターミネータ：OFF、4線式通信）



1番：ターミネータ（内部終端抵抗）
「ON」に設定してご使用ください。

2～4番：通信方式

2線式通信と4線式通信の切換設定です。使用する通信方式に設定します。



4線式通信の場合
（すべてOFF）



2線式通信の場合
（すべてON）

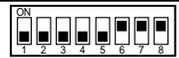
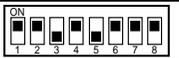
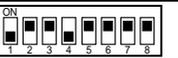
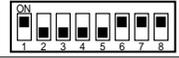
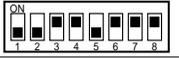
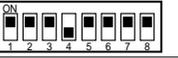
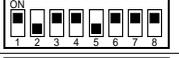
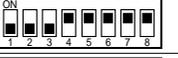
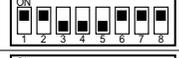
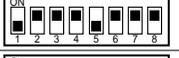
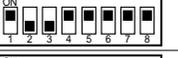
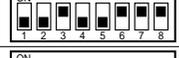
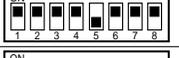
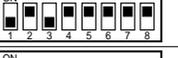
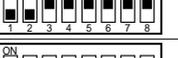
DIPスイッチの設定

ユニット番号 (DIPスイッチ1) の設定

ユニット番号には、「松下新プロトコル (下記)」「松下旧プロトコル (55,56ページ)」の2種類があります。

工場出荷時は、すべて「OFF」に設定されています。(同軸多重通信)

松下新プロトコルを使用する場合

DIPスイッチ1	ユニット番号	DIPスイッチ1	ユニット番号	DIPスイッチ1	ユニット番号
	1 ~ 32		11		22
	1		12		23
	2		13		24
	3		14		25
	4		15		26
	5		16		27
	6		17		28
	7		18		29
	8		19		30
	9		20		31
	10		21		

ユニット番号「1~32」に設定した場合は、「RS485設定メニュー」でユニット番号を設定する必要があります。設定方法は、50ページの手順2をご覧ください。

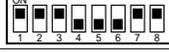
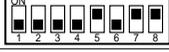
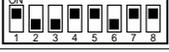
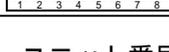
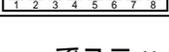
この設定で電源を入れると、初期化動作中にRS485設定メニューが表示されます。

松下旧プロトコルを使用する場合（従来の松下製監視システム）

DIPスイッチ1	ユニット 番号	DIPスイッチ1	ユニット 番号	DIPスイッチ1	ユニット 番号
	1 ~ 96		23		46
	1		24		47
	2		25		48
	3		26		49
	4		27		50
	5		28		51
	6		29		52
	7		30		53
	8		31		54
	9		32		55
	10		33		56
	11		34		57
	12		35		58
	13		36		59
	14		37		60
	15		38		61
	16		39		62
	17		40		63
	18		41		64
	19		42		65
	20		43		66
	21		44		67
	22		45		68

（次ページへつづく）

DIPスイッチの設定

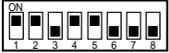
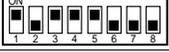
DIPスイッチ1	ユニット番号	DIPスイッチ1	ユニット番号	DIPスイッチ1	ユニット番号
	69		78		87
	70		79		88
	71		80		89
	72		81		90
	73		82		91
	74		83		92
	75		84		93
	76		85		94
	77		86		95

ユニット番号「1～96」に設定した場合は、「RS485設定メニュー」でユニット番号を設定する必要があります。設定方法は、50ページの手順2をご覧ください。

この設定で電源を入れると、初期化動作中にRS485設定メニューが表示されます。

RS485通信条件（DIPスイッチ1）の設定

DIPスイッチ1を次のように設定すると、通信条件を工場出荷時の設定に戻したり、設定内容を変更することができます。

DIPスイッチ1	設定内容
	通信条件を松下旧プロトコル用にする（工場出荷時の通信条件設定状態）
	通信条件を松下新プロトコル用にする
	BAUD RATE : 19200、DATA BIT : 8、PARITY CHECK : NONE、STOP BIT : 1
	BAUD RATE : 9600、DATA BIT : 8、PARITY CHECK : NONE、STOP BIT : 1
	BAUD RATE : 4800、DATA BIT : 8、PARITY CHECK : NONE、STOP BIT : 1

この設定を使用するときは、次の手順で行ってください。

- ① DIPスイッチ1でRS485通信条件（上表）を設定します
- ② 本機の電源を一度切り、再度電源を入れます。
手順①で設定した内容が反映されます。
- ③ DIPスイッチ1でユニット番号（ 54～56ページ）を設定します

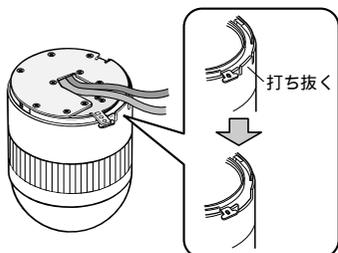
設置のしかた

本機と飾りカバーを加工する（線材を側面から引き出す場合）

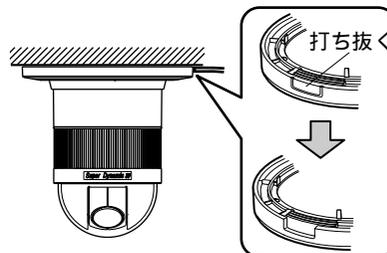
本機のケーブル類（電源、映像出力、RS485、アラーム入力、アラーム出力）を側面から引き出して、天井または壁面に配線する場合は、カメラ本体と飾りカバーを次のように加工してください。

カメラ本体を加工するには、ベースユニットを外す必要があります。ベースユニットの取り外しかたは、下記手順1,2をご覧ください。

〔カメラ本体ダイカストケースの加工〕

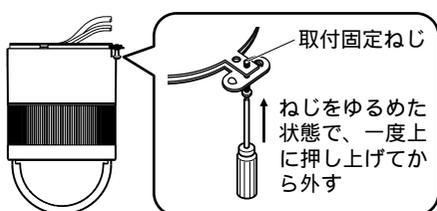


〔飾りカバーの加工〕

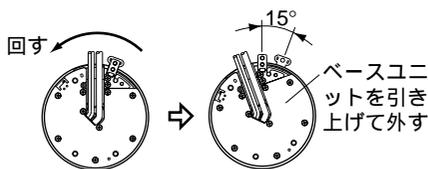


カメラを取り付ける

- ・取付場所は、カメラの総質量に耐えられる場所にしてください。強度が不十分だと、落下によるけがの原因となります。
- ・別売の取付金具を使用してカメラを取り付ける場合は、使用する取付金具の取扱説明書をご覧ください。



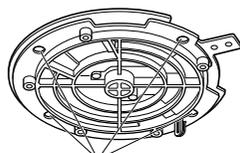
- 1 カメラ本体とベースユニットを固定している取付固定ねじを外します
取付固定ねじは紛失しないように注意してください。



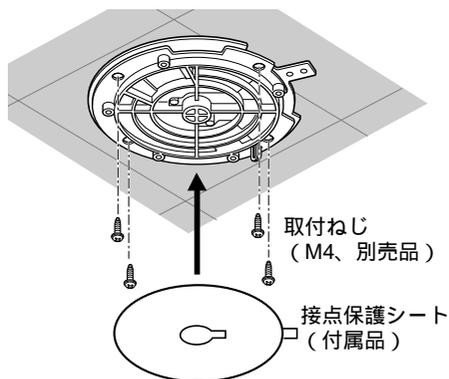
- 2 ベースユニットを矢印の方向に回して取り外します

（次ページへつづく）

設置のしかた

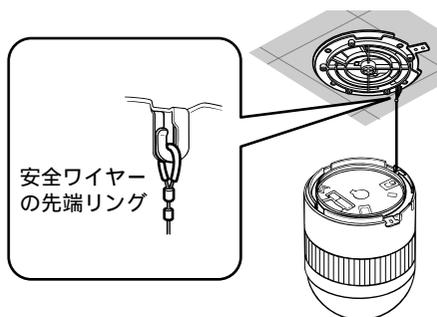


マーキングする



取付ねじ
(M4、別売品)

接点保護シート
(付属品)



安全ワイヤー
の先端リング

- 3** ベースユニットを型紙代わりに利用して、取付ねじ用の穴位置（4ヶ所）をマーキングします
ケーブル類を天面から配線する場合は、線材を通す穴位置を決めて天井に穴を開けてください。

- 4** ベースユニットを天井に取り付けます
取付ねじ（M4）は、取付場所に合わせてご用意ください。
すぐにカメラを取り付けないときは、ほこりの付着を防止する接点保護シート（付属品）を貼り付けてください。

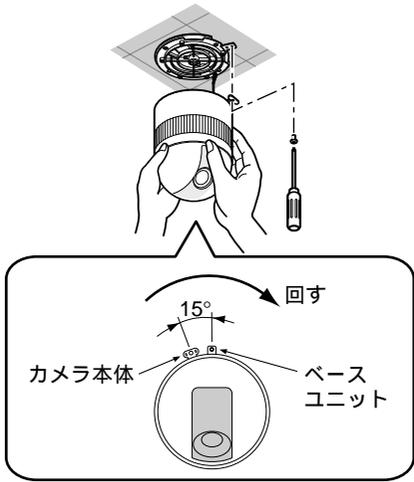
お願い

ケーブル類は、ベースユニットの溝からはみ出さないように配線してください。はみ出したまま取り付け作業を行うと、線材を傷つけ断線や火災の原因となります。

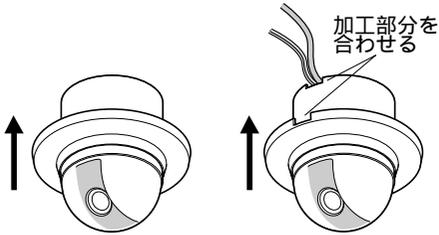
- 5** カメラ本体に固定されている安全ワイヤーをベースユニットに取り付けます
安全ワイヤーを引いてみて、安全ワイヤーの先端リングが確実にベースユニットのフックにかかっていることを確認してください。
接点保護シート（付属品）が貼り付けてあるときは、先にはがしてください。

お願い

安全ワイヤーはカメラ本体を吊り下げのことを想定し設計されていますので、それ以外の負荷を加えないでください。



[天面から引き出す場合] [側面から引き出す場合]



6 カメラ本体をベースユニットに取り付けます
ベースユニットにカメラ本体を合わせて奥まで差し込み、矢印の方向に回します。

7 手順1で外した取付固定ねじで、カメラ本体とベースユニットを固定します

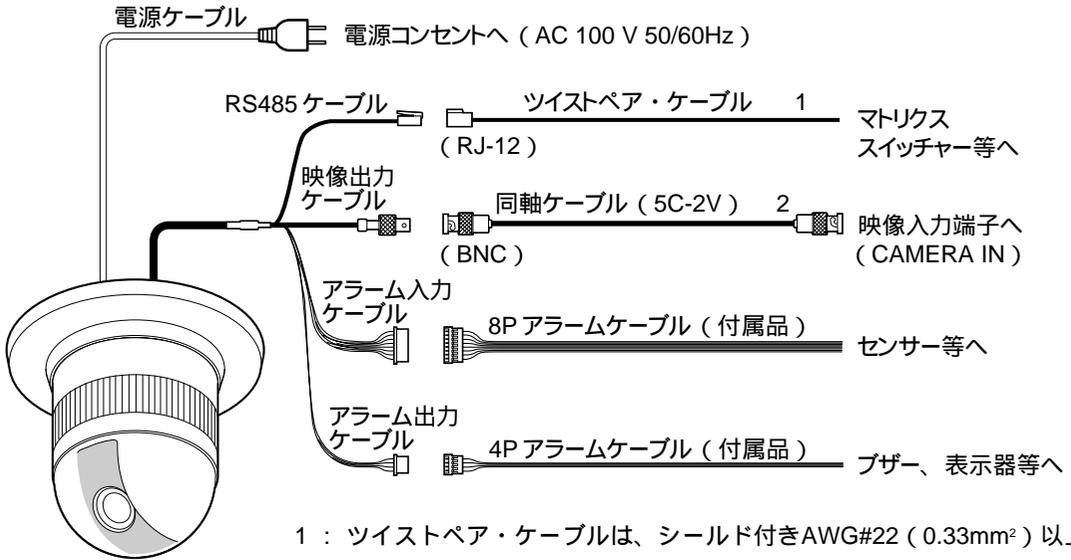
8 取り付けの確認をします

- ・傾きがなく、きちんと取り付いていること。
- ・ぐらつかないこと。
- ・本体固定部を回してみても回らないこと。

9 飾りカバーを取り付ける

- ・線材を天面から引き出すときは、飾りカバーをそのまま上に持ち上げて、天井面に強く押しつけてください。
- ・線材を側面から引き出すときは、飾りカバーの加工部分が線材の位置に合うように持ち上げて、天井面に強く押しつけてください。

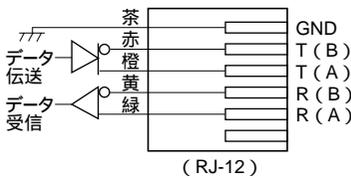
接続のしかた



1 : ツイストペア・ケーブルは、シールド付きAWG#22 (0.33mm²) 以上の太さの低インピーダンス品をご使用ください。

2 : 同軸ケーブルの全長は、1200m以下 (5C-2V時) にしてください。

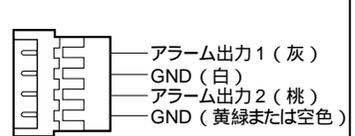
RS485ケーブルについて



アラーム入力ケーブルについて



アラーム出力ケーブルについて



アラーム入出力の定格

アラーム入力 : 5 V DCプルアップ入力。0.2 mA以上のドライブ能力が必要です。

OFF : 4 V DC以上、5 V DC以下またはオープン

ON : 1 V DC以下またはショート

アラーム出力 : オープンコレクタ出力。ドライブ能力16 V DC、100 mA以下。

OFF : オープン

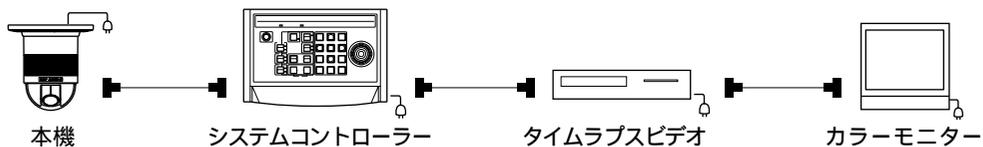
ON : 100 mA以下

外部機器接続時は、定格を越えないように設置してください。

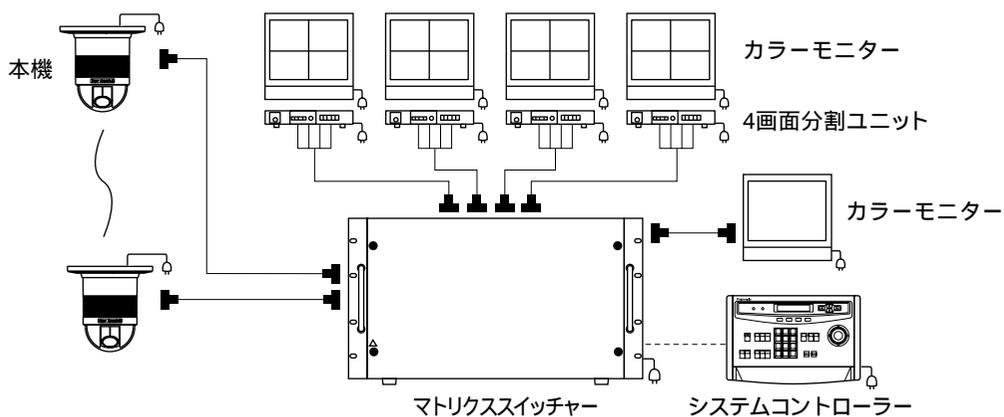
メモ

電源投入後、30秒以内に電源の入切を繰り返すと、PAN / TILT / ZOOM / FOCUSの位置がずれることがあります。

システム例1



システム例2



ショートカット操作について

「カメラ機能」ボタンのあるコントローラーを使用すると、テンキーとカメラ機能ボタン操作で機能の設定をすることができます。(ショートカット操作)
本機で使用できるショートカット操作は次のとおりです。プリセットポジションの移動もプリセット番号をテンキー入力することにより行えますが、下表からは省略しています。

メモ

- ・プリセットポジションの移動とAUTO PANのON/OFFを設定するときは、デジタルフリップ機能を「OFF」にしてから行ってください。「FLIP ON トウロクキンシ」と表示されたら再度設定してください。
- ・レンズ、回転台の動作中は、ショートカット操作を実行できないことがあります。
- ・パトロール機能で記憶できるショートカット操作は、1～64、169、170のみです。
- ・パトロールPLAY中、動作を止めずに実行できるショートカット操作は、169、170のみです。

コントローラーの操作	設定内容	参照ページ
[6] + [5] + [カメラ機能]	AUTO PAN ON	26,27
[6] + [6] + [カメラ機能]	AUTO PAN OFF	
[6] + [7] + [カメラ機能]	AUTO PAN回転速度を1段階速くする	
[6] + [8] + [カメラ機能]	AUTO PAN回転速度を1段階遅くする	
[6] + [9] + [カメラ機能]	AUTO PANスタート位置設定	
[7] + [0] + [カメラ機能]	AUTO PANエンド位置設定	
[7] + [4] + [カメラ機能]	AUTO PAN範囲反転	
[7] + [1] + [カメラ機能]	オートモード (AUTO MODE) OFF	26
[7] + [2] + [カメラ機能]	オートモード (AUTO MODE) SEQ ON	
[7] + [3] + [カメラ機能]	オートモード (AUTO MODE) SORT ON	
[7] + [6] + [カメラ機能]	エンドレス回転 (ENDLESS) ON	27
[7] + [7] + [カメラ機能]	エンドレス回転 (ENDLESS) OFF	
[7] + [8] + [カメラ機能]	デジタルフリップ (DIGITAL FLIP) ON	28
[7] + [9] + [カメラ機能]	デジタルフリップ (DIGITAL FLIP) OFF	
[8] + [0] + [カメラ機能]	ズーム運動PAN/TILTスピード (PROPO.P/T) ON	32
[8] + [1] + [カメラ機能]	ズーム運動PAN/TILTスピード (PROPO.P/T) OFF	
[8] + [4] + [カメラ機能]	SUPER-D ON	16,17
[8] + [5] + [カメラ機能]	SUPER-D OFF	
[8] + [6] + [カメラ機能]	オートフォーカス (AF MODE) STOP AF ON	21
[8] + [7] + [カメラ機能]	オートフォーカス (AF MODE) STOP AF OFF	
[8] + [8] + [カメラ機能]	オートフォーカス起動	
[8] + [9] + [カメラ機能]	ホームポジションへ移動	25
[9] + [0] + [カメラ機能]	画面の白黒制御 (BW) ON	48
[9] + [1] + [カメラ機能]	画面の白黒制御 (BW) OFF	
[9] + [2] + [カメラ機能]	画面の白黒制御 (BW) AUTO	
[9] + [3] + [カメラ機能]	カメラID (CAMERA ID) ON	45
[9] + [4] + [カメラ機能]	カメラID (CAMERA ID) OFF	
[9] + [5] + [カメラ機能]	エリアタイトル (AREA TITLE) ON (NESW)	32
[9] + [6] + [カメラ機能]	エリアタイトル (AREA TITLE) ON (USER)	
[9] + [7] + [カメラ機能]	エリアタイトル (AREA TITLE) OFF	
[9] + [8] + [カメラ機能]	電子ズーム (EL-ZOOM) ON	42
[9] + [9] + [カメラ機能]	電子ズーム (EL-ZOOM) OFF	
[1] + [0] + [0] + [カメラ機能]	REFRESH (カメラ位置補正) 機能起動	48

(次ページへつづく)

コントローラーの操作	設定内容	参照ページ
[1] + [4] + [5] + [カメラ機能]	プリセット45の撮影場所を記憶する	12,13
[1] + [4] + [6] + [カメラ機能]	プリセット46の撮影場所を記憶する	
[1] + [4] + [7] + [カメラ機能]	プリセット47の撮影場所を記憶する	
[1] + [4] + [8] + [カメラ機能]	プリセット48の撮影場所を記憶する	
[1] + [4] + [9] + [カメラ機能]	プリセット49の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [0] + [カメラ機能]	プリセット50の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [1] + [カメラ機能]	プリセット51の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [2] + [カメラ機能]	プリセット52の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [3] + [カメラ機能]	プリセット53の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [4] + [カメラ機能]	プリセット54の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [5] + [カメラ機能]	プリセット55の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [6] + [カメラ機能]	プリセット56の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [7] + [カメラ機能]	プリセット57の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [8] + [カメラ機能]	プリセット58の撮影場所を記憶する	
[1] + [5] + [9] + [カメラ機能]	プリセット59の撮影場所を記憶する	
[1] + [6] + [0] + [カメラ機能]	プリセット60の撮影場所を記憶する	
[1] + [6] + [1] + [カメラ機能]	プリセット61の撮影場所を記憶する	
[1] + [6] + [2] + [カメラ機能]	プリセット62の撮影場所を記憶する	
[1] + [6] + [3] + [カメラ機能]	プリセット63の撮影場所を記憶する	
[1] + [6] + [4] + [カメラ機能]	プリセット64の撮影場所を記憶する	
[1] + [6] + [5] + [カメラ機能]	パトロール (PATROL) PLAY	35,36,37
[1] + [6] + [6] + [カメラ機能]	パトロール (PATROL) STOP	
[1] + [6] + [7] + [カメラ機能]	パトロール (PATROL) LEARN開始	
[1] + [6] + [9] + [カメラ機能]	レンズの絞り (IRIS) OPEN	17
[1] + [7] + [0] + [カメラ機能]	レンズの絞り (IRIS) CLOSE	
[1] + [7] + [1] + [カメラ機能]	電子シャッター (SHUTTER) ON	19
[1] + [7] + [2] + [カメラ機能]	電子シャッター (SHUTTER) OFF	
[1] + [7] + [3] + [カメラ機能]	電子シャッター速度を1段階速くする	
[1] + [7] + [4] + [カメラ機能]	電子シャッター速度を1段階遅くする	
[1] + [7] + [5] + [カメラ機能]	ゲイン調整 (AGC) ON	19
[1] + [7] + [6] + [カメラ機能]	ゲイン調整 (AGC) OFF	
[1] + [7] + [7] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) FIX ON	19
[1] + [7] + [8] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) FIX OFF	
[1] + [7] + [9] + [カメラ機能]	電子感度を1段階上げる (FIX)	
[1] + [8] + [0] + [カメラ機能]	電子感度を1段階下げる (FIX)	
[1] + [8] + [1] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) AUTO ON	
[1] + [8] + [2] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) AUTO OFF	
[1] + [8] + [3] + [カメラ機能]	電子感度を1段階上げる (AUTO)	
[1] + [8] + [4] + [カメラ機能]	電子感度を1段階下げる (AUTO)	
[1] + [8] + [5] + [カメラ機能]	電源同期位相調整 (FINE) 1段階上げる	46
[1] + [8] + [6] + [カメラ機能]	電源同期位相調整 (FINE) 1段階下げる	
[1] + [8] + [7] + [カメラ機能]	180° ターン (PAN方向)	
[1] + [8] + [8] + [カメラ機能]	クリーニング (CLEANING) ON	42
[1] + [8] + [9] + [カメラ機能]	クリーニング (CLEANING) OFF	

仕様

基本仕様

電源	AC100 V 50/60 Hz
撮像素子	1/4型インターライン転送方式CCD
有効画素数	755 (H) × 485 (V)
走査面積	3.59 (H) × 2.70 (V) mm
信号方式	NTSC方式
同期方式	内部同期、多重VD同期、電源同期
走査方式	2 : 1インターレース
走査周波数	水平 : 15.734 kHz、垂直 : 59.94 Hz
映像出力	VBS : 1.0 V [p-p] /75 (BNCプラグ)
解像度 (中心部にて)	水平 : 570TV本以上 (白黒モード)、480TV本以上 (カラーモード) 垂直 : 350TV本以上
最低照度	0.06 lx (白黒モード) 1.0 lx (カラーモード) 電子感度アップ2倍時
ダイナミックレンジ	46 dB (SUPER-D : ON)
S/N	50 dB以上 (AGC : OFF)
使用温度範囲	- 10 °C ~ + 50 °C、湿度90 %以下 (結露しないこと)
防水性	JIS 防滴 形 (IP52)
寸法	120 (直径) × 191 (高さ) mm (ドーム径 : 110 mm)
質量	約2 kg
仕上げ	本体 : アルミダイカスト メラニン焼付塗装 (マンセル5.5Y7.5/0.3近似色) ドーム部 : 透明アクリル樹脂

レンズ部

ズーム比	22倍 (電子ズーム使用時 : 約220倍)
焦点距離	3.79 ~ 83.4 mm
最大口径比	1 : 1.6 (WIDE) ~ 3.0 (TELE)
至近距離	1.6 m
絞り範囲	F1.6 ~ 22、Close

回転台部

水平回転範囲	360° エンドレス旋回
水平回転動作	マニュアル、オート、マニュアルポジション、シーケンスポジション
水平回転速度	マニュアル : 約0.1° ~ 120° /s、8段階/16段階 マニュアルポジション、シーケンスポジション : 最大約300° /s
垂直回転範囲	固定0° ~ 180° (水平 ~ 真下 ~ 水平)
垂直回転動作	マニュアル、マニュアルポジション、シーケンスポジション
垂直回転速度	マニュアル : 約0.1° ~ 120° /s、8段階/16段階 マニュアルポジション、シーケンスポジション : 最大約300° /s

主な機能	
コントローラーとのI/F	新監視システム同軸多重、RS485
制御機能	回転台、レンズ、64プリセットポジション回転動作、ホームポジション パトロール
AGC	ON/OFF
タイトル (ID)	ON/OFF (プリセットID、カメラID、エリアタイトル: 英数記号、カタカナ16文字)
ズーム動作速度	マニュアル時 約7.5 sec (TELE ~ WIDE)
フォーカス動作速度	マニュアル時 約6 sec (FAR ~ NEAR、ズームTELE端にて)
オートフォーカス	NORMAL/STOP AF (PAN、TILT、ZOOM連動)
アイリス (IRIS)	ALC (OPEN/CLOSEの補正可能) /MANUAL
電子シャッター	OFF (1/60)、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000
電子感度アップ	最大32倍 (AUTOまたはFIX、出荷時はAUTO×2に設定)
オートモード	OFF/SEQ/SORT/AUTO PAN
オートパンキー	SEQ/SORT/AUTO PAN/PATROL
デジタルフリップ	ON/OFF
SUPER-D	ON/OFF
モーションディテクター	ON/OFF
アラーム入出力	4入力 (ALARM IN 1 ~ 4)、2出力 (ALARM/AUX1、B/W/AUX2)
白黒切換	AUTO/ON/OFF
プライバシーゾーン	ON/OFF (ゾーン設定8ヶ所)
パトロール	STOP/PLAY/LEARN
クリーニング	ON/OFF

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあとは保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
ただし、レンズ部、スリッリング、冷却ファンは、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

修理を依頼されるとき

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、コンビネーションカメラの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ年月日	年 月 日	品番 WV-CS850
販売店名		☎ () -

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎ (045) 932-1231 (大代表)

N1199-2010

V8QA5272CN